

旅のバリアフリー

HOKKAIDO

TOTTORI

SAGA-URESHINO

旅のバリアフリー

TABIBARI

BARRIER FREE TOURISM

2013年度
改訂版

KURE

EHIME

IZU

ISHIKAWA

あなたの基準で楽しむ
バリアフリー観光を

MIYAGI

TOKYO

HYOGO

AICHI

FUKUOKA

OKINAWA



FUKUSHIMA

ISE

SHIMANE

日本バリアフリー観光推進機構

旅バリア

目次



- 02 旅行者を基準にしたバリアフリー観光
- 10 相談センターの機能
- 12 全国バリアフリー旅行情報サイト
- 15 全国のバリアフリー観光地を支える団体
 - 16 01) カムイ大雪バリアフリーツアーセンター
 - 18 02) ゆにふりみやぎ
 - 20 03) ふくしまバリアフリーツアーセンター
 - 22 04) 東京バリアフリーツアーセンター
 - 24 05) 高齢者・障がい者の旅をサポートする会
 - 26 06) 伊豆バリアフリーツアーセンター
 - 28 07) 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
 - 30 08) トラベルフレンズ・とっとり
 - 32 09) 松江／山陰バリアフリーツアーセンター
 - 34 10) 呉バリアフリーツアーセンター
 - 36 11) 四国バリアフリーツアーセンター
 - 38 12) バリアフリーネットワーク九州会議
 - 40 13) 佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター
 - 42 14) 沖縄バリアフリーツアーセンター
 - 44 15) 石川バリアフリーツアーセンター
 - 46 16) チックトラベルセンター ハートTOハート
 - 47 17) しゃらく
- 48 相談センター利用の流れ
- 49 伊勢市のとりくみ 伊勢市バリアフリー観光向上事業
 - 54 伊勢志摩での移動支援サービス
- 55 三重県のとりくみ
- 56 伊勢・旅バリアフォン

新しい旅に出かけよう!

これまでは自宅から介助が必要だった人も・・・

この冊子「旅バリ」は、各地でバリアフリーの観光地づくり、障がい者の旅行の支援に携わる団体の取り組みや、全国でのネットワークの仕組み、サービスの利用方法についてご紹介するものです。

「自分はこんな障がいがあるけれど、今度、ここに旅をしたいなあ」という人に対して旅先のバリアフリーに関する情報提供や介助支援など、全国でネットワークを形成する団体＝バリアフリー観光相談センター（以下、相談センター）がお手伝いしています。

今までは、障がいのある方が旅行をしようとする、介助する人が旅の全日程を同行する必要がありました。介助者が家族の人であれば、ふだんの生活と同じように介助する役割となり、その家族の人でも十分に旅を楽しむことができないかもしれません。また、介助を専門の事業所を通じて依頼すれば多額の費用がかかり、経済的には負担が大きくなります。

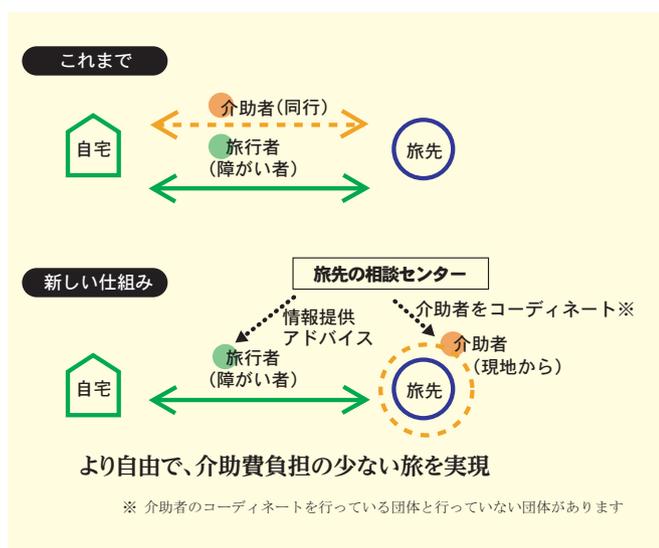
旅先のバリアフリー情報、介助者を紹介してもらおう

ここでご紹介する相談センターの仕組みは、訪れる先の観光地において、その地域の団体が観光施設や宿泊施設、交通施設などのバリアフリー情報を事前に調査しホームページでその情報を提供したり、電話でのお問い合わせに対してきめ細かく紹介するというものです。また車いすを押ししたり、入浴の際の介助、視覚障がい者の手引きなどの介助できる人をコーディネートもしています。

相談センターでは、その地域の観光施設や宿泊施設などに対してバリアフリー接遇研修を行っており、地域全体で障がい者をおもてなしする体制、環境づくりに取り組んでいます。

便利に相談センターを利用しよう

平成25年6月時点、全国で相談センターの取り組みを行っている団体は17団体。北は北海道から南は沖縄まで。これらの相談センターへの問い合わせは無料ですので、まずは気軽に電話やメールでアプローチしてみましょ。そこから、みなさんの旅がきっと豊かに広がっていくことでしょ!



旅行者を基準にした バリアフリー観光

観光を楽しむための パーソナルバリアフリー基準

大切なのは観光を楽しむこと

ユニバーサルデザインとは、モノづくりにおいて、作る過程からだれもが使いやすいデザインするという考えですが、このことを第一義に考えてしまうと、大きな誤解を招くことになります。なぜなら、世の中にすでにあるものほとんどはバリアだらけ。そして、体の不自由な人々はそのバリアがユニバーサルデザインに変更されるのを待ってはられないからです。

とりわけ観光においては、バリアは当然のようにあり、むしろバリアがあるからこそ観光の醍醐味と言えることも少なくはあ

りません。

山や海を代表する自然系のレジャーはバリアを超える楽しみそのものですし、神社仏閣には石段や砂利道など俗世とのバリアがどこかに必ずあります。知らない街を散策することや方言もバリアの楽しみであり、外国語ができないからと海外に行かない人はいないでしょう。

つまり、旅のバリアフリーで大切なのは、どこがユニバーサルデザインになっているかではなく、旅行者本人が何を楽しみたいかなのです。

障がい者の数だけ バリアの数はある

障がいの種類は無数にあります。同じ車いす利用者でも、その人の体の状態によってバリアの程度や種類が違います。さらに介助者が若いか高齢者か、男性か女性かによっても、越えられるバリアには差があります。

そのだれにでも事前に対応するモノづくりがユニバーサルデザインという理論ですが、前述したようにハードの完成を待っていないはだれも旅行に行けませんし、行きたいところにはさらに行けません。

そこで私たちは『パーソナルバリアフ

特定非営利活動法人
日本バリアフリー観光推進機構
理事長 中村 元





barrier free tourism

旅行者を基準にしたバリアフリー観光



神宮石段介助

リー基準」という相談システムを開発しました。『パーソナルバリアフリー基準』では、ユニバーサルデザインな施設や場所だけを紹介するのではなく、バリアを詳しく調査して、そのバリアを打ち破り回避する方法をお客さまに提案したり、一緒に考えたりします。

例えば、車いすのおばあちゃんを温泉に入れてあげたいという家族がいるとしましょう。家族で介助できる温泉が必要ですから、貸切風呂や部屋に温泉が引かれてい

る宿をいくつか紹介します。すると、途中に段差がいくつかあっても、貸切の露天風呂など、おばあちゃんが喜ぶところを選ばれるのが普通です。

あるいは、視覚障がいのご夫婦が、海のそばの旅館に泊まりたいとします。フロントやレストランに近くて迷いにくいけれど眺めの悪い部屋より、フロントからは遠くて不便だけど海が目の前に広がって眺めのいい部屋を選ばれるのが普通です。目では見えなくとも、潮の香りや波の音、明るい日差しなどで海を楽しみたいからです。

これが、『パーソナルバリアフリー基準』で最も大切にするところです。障がい者だからユニバーサルデザインの行き届いたところに旅行したいと考えるのは、大間違い。障がい者も、いえ、体が不自由だからこそ、せっかく出かけた旅行には、健常者以上に観光の楽しさを満喫したいのは当然のことなのです。

意味あるバリアは 乗り越える

宿泊施設や観光施設側においては、お客さまを喜ばせる目的によるバリアはいくつもあります。土の庭に踏み石、ふかふかの絨毯など、いずれもお客さまに感動を与えるための演出です。

そしてこれらの目的や特徴を大切にすることは、それらのバリアを乗り越える工夫をすればいいのです。

そのため、『パーソナルバリアフリー基準』では、受け入れ施設のバリア調査をするとともに、バリア解消のための工夫や知識をアドバイスしていきます。

上がり框がある部屋には、必要に応じて手作りのスロープを用意すればいいし、必ず手伝うという約束でも構いません。土の庭の踏み石には、眺めることのできる場所と迂回路を造れば、十分に楽しむことができます。

伊勢神宮は玉砂利を敷き詰めた長い参道と、健常者にも辛い石段など、いかにも神様との結界を感じさせる造りになっていますが、ここでは、参拝ボランティアを養成し、車いすの参拝者のお手伝いをしています。バリアをさまざまな方法で乗り越える提案をするのが『パーソナルバリアフリー基準』なのです。

旅行者を基準にした バリアフリー観光

全国のバリアフリー観光地が 統一規格で利用できる

顧客視点が

これからの観光の進む道

日本全国の各県各地が観光地として宣言している昨今ですが、その実、ほとんどの観光地が集客に悩んでいます。

とりわけ、旅行代理店主導の観光システムに合わせ依存してきた観光地や、リゾート法に乗って急ごしらえで観光開発した地域は見る影もありません。

しかしそれでも、ずば抜けた集客力を持つ観光地は存在します。現代の多様化した顧客の要求に応じ、惹きつけ満足させるものをもっている観光地です。

こと、やってはいけないことと考えられる社会でした。

しかしながら日本もようやく、障がいの有無に関係なく、誰もがごく普通の生活を送ることができることが正しいという、ノーマライゼーションの考え方が広く浸透してきました。

2000年前後になると、観光においても、その考え方は当てはまると予測した、いくつかの観光地がありました。

その中で、2002年に、日本における初めての常駐型バリアフリー観光相談センターを立ち上げ運営し始めた「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」は、バリアフリーマーケットの顧客に広く支持をうけ評価される『パーソナルバリアフリー基準』という考え方を構築しました。

『パーソナルバリアフリー基準』では、ハードのユニバーサルデザインだけを追い求めるのではなく、多様な旅行者の多様な要求と、多様な体の状態に合わせて、観光地や観光施設の魅力を損なうことなく受け入れ態勢を整えることができます。

この『パーソナルバリアフリー基準』こ

日本バリアフリー観光推進機構の推進する『バリアフリー観光』（旅行業の観点からはユニバーサルツーリズム）とは、現代において多様化した顧客の中から、急速に顕在化してきた巨大なマーケットの心をつかむ観光地とシステムをつくるプロジェクトです。

日本バリアフリー観光推進機構 の成り立ち

少し前までの日本社会は、障がい者や、加齢によって体が不自由になった高齢者が外出したり遊んだりすることが、恥ずかしい



barrier free tourism

旅行者を基準にしたバリアフリー観光

それが、日本バリアフリー観光推進機構のメンバーである観光地を、全国統一の規格でネットワークするシステムであり、日本バリアフリー観光推進機構の原点でもありません。

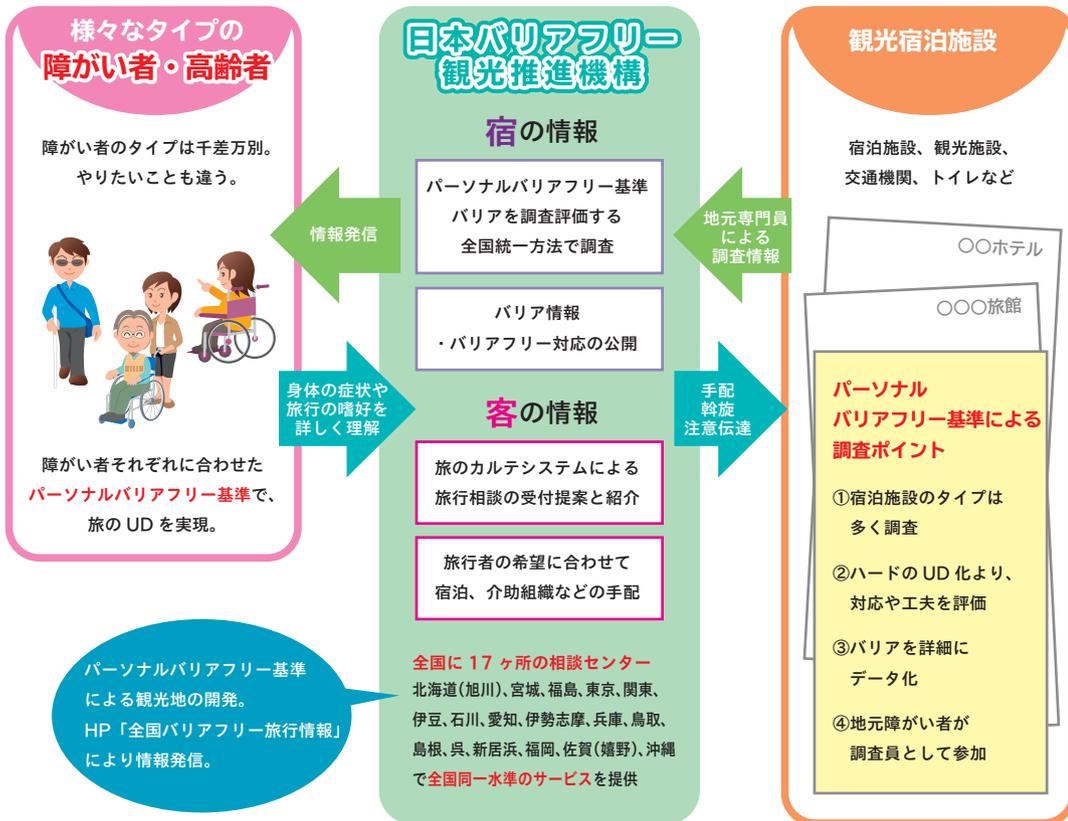
2009年になると、『パーソナルバリアフリー基準』あるいは、それに準じた基準で、バリアフリーマーケットの先行的獲得に成功した地域も出てきました。また、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの協力によって、バリアフリー観光の相談センターを設立した地域も新たに増えてきました。

2010年、これらの地域は、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと松江市のNPO『プロジェクトゆうあい』の呼びかけに賛同し、総務省の交付金事業「地域ICT利活用広域連携事業」によって、『パーソナルバリアフリー基準』を全国統一の規格にした、全国ネットワークをつくるに至りました。

総務省の事業は、ICT環境上の情報システムに過ぎません。そのネットワークを活かすことができるのは、バリアフリー観光マーケットの獲得と、観光のノーマライゼーション化という理念を共有する、全国の相談センターです。

2011年、私たちはこの志を同じくするメンバーによって、日本バリアフリー観光推進機構を立ち上げたのです。

パーソナルバリアフリー基準による旅行相談



旅行者を基準にした バリアフリー観光

無料で相談、予約や手配を行える 相談センターもある

地元の専門家に相談

以上のような精神の下で観光のバリアフリーを実現しようとしている『パーソナルバリアフリー基準』には、当然のことながら、お客さまの相談に応じる常設の「相談センター」が必要です。2013年6月現在、旭川市・北海道、宮城県、福島県、東京都・関東、伊豆、伊勢志摩・三重県、鳥取県、島根県、呉市、新居浜市・愛媛県、福岡県、嬉野市・佐賀県、沖縄県の各地域をエリアとする相談センター14ヶ所が機能しており、新たに愛知県、兵庫県、石川県の相談センターが活動を始めました。

旅行に出かけたいお客さまは、それらの相談センターに、電話、メール、ファックスなどでご相談いただけます。

相談を受けるのは、実際に地元のバリアフリー調査をし、バリア状況だけでなく、観光情報にも精通しているスタッフです。さらに、調査のときには地元の障がい者スタッフ（専門員）と一緒にいたり、事務局員が障がい者であるセンターも少なくないため、様々な障がいについても詳しいのが特徴です。

不安なことはなんでもご相談下さい。きつと満足な答えが戻ってきます。

何度も使える「旅のカルテ」

お客さまから旅の目的などをお聞きしたら、続いて体の状態について伺います。お聞きした情報は厳重に管理した上で、お客さまの「旅のカルテ」として保管します。センターから宿泊施設などに注意点を知らせるときや、リピーターとして再度のご利用の時には、この「旅のカルテ」が役に立ちます。

また、お客さまのご要望によって、全国の相談センターでカルテを共有することも可能です。新たな地域へ旅行を計画される時にも、相談センターのある地域であれば、「旅のカルテ」の記入の手間は省けます。

さらに、「旅のカルテ」を使えば、住居に近い相談センターを介して、他の地域の相談センターに相談することも可能です。

多くの地域の相談センターでは、宿泊観光施設の予約（無料）を行い、観光介助、入浴介助、病院などの手配が行えます。お気軽にお尋ね下さい。

尚、旅行代理店を介しての相談には対応できかねますのでご了承下さい。



barrier free tourism

旅行者を基準にしたバリアフリー観光

地域全体で ユニバーサルデザインを実現する

一般観光客にも人気のUDルーム

各地相談センターは、地元の宿泊施設や観光施設のバリアフリー化アドバイスも積極的にを行っています。

アドバイスをを行う中心的なメンバーは、事務局スタッフとともに、「専門員」と呼ばれる地元の障がい者や介助者です。このス



タッフたちは、旅の目的を大切にする『パーソナルバリアフリー基準』を熟知している上に、自らも旅行に出かけるのが好きな面々であるため、バリアフリー化アドバイスも、旅を楽しむことを最優先にしたものです。

例えば、『パーソナルバリアフリー基準』でアドバイスした旅館のUDルームには、手すりなどがほとんど見あたらず、優美で機能的な部屋となっています。それは専門員たちが自ら旅行に出かけるとしたら、病院や自宅の寝室のような部屋ではなく、和風や高級など旅行の非日常感覚を楽しみたいという理由からです。

そのため、相談センターの指導によって完成したUDルームは、一般客にも人気となり、少しばかり価格が高くても、最も稼働率の高い部屋になることが多いのです。

「専門員」に障がい者が多いことは、観光のノーマライゼーションにも大いに役に立ちます。

障がい者の専門員がバリアフリー調査や



アドバイスに向くことで、宿泊観光施設の責任者やスタッフは、気兼ねなく疑問を尋ねることができるからです。

視覚障がい者の場合には、誘導の仕方や、盲導犬への注意、並べた食事の案内の方法などが役立ちます。

車いすであれば、スロープの下り方や車への乗降の仕方はもちろんのこと、トイレへの移乗の仕方、お風呂の入り方など、お客さま相手だと見ることはできない情報や知識がいくらかでもあります。

調査によって、このような経験をした宿泊観光施設のスタッフは、一般のお客さまに対する接遇態度も向上するという結果が得られています。

旅行者を基準にした バリアフリー観光

バリアフリーを組み合わせて UDに

障がい者にも多様な事情や好みがあるのと同じように、宿泊観光施設にも、様々な事情や趣向があります。

『パーソナルバリアフリー基準』では、それらを曲げてまでUD化することではなく、特性として理解した上で、バリアを越える工夫をするか、逆に魅力としてアピールできるように考えます。



実はそれが、旅行者の多様なニーズに合わせることもあるのです。和風旅館か洋風ホテルかなどの好みや問題もあるでしょうし、UD度よりも値段が安いことの方が重要という障がい者は多くいらっしやいます。

当然のことながら、安さがウリの宿泊施設では、投資できる金額も少ないですから、思い切ったUD改修はできません。共用トイレだけをUD化したり、手すりを付けるだけということもあります。

しかし、たったそれだけ？とは決していません。それで満足なお客さまもいらっしゃいますし、私たちの目指すのは、福祉ではなく経済社会による社会の改革なのでから。

そして、地域全体の内容を知っている相談センターで相談を受ける限り、多様な宿泊観光施設があることによって、地域全体で、だれにも対応できるユニバーサルデザイン型の観光地が実現できるのです。

バリアフリーアクティビティ

バリアフリー観光は、高齢者中心の穏やかでゆっくりとした旅だというイメージがありますが、もっとアクティブなものです。

沖縄の「沖縄バリアフリーツアーセンター」では、自慢の海を活かした「海のバリアフリー」で障がい児を含んだ修学旅

行を増やし、「車いすの花嫁ウエディングショー」といった若い障がい者にアピールするイベントを開催してパブリシティ活動に成功しています。

北海道の「カムイ大雪バリアフリーツアーセンター」のアクティビティ開発はさらに盛んです。

地元の若い下肢障がいの青年たちが中心になり、車イスが苦手な雪を逆手に取って、雪上用電動車イスを開発し、巨大な氷のスロープを滑り降りる雪遊びや、カーリング遊びをしています。

近年大きく話題になり人気急上昇なのが、座って乗り手でブレーキを掛ける犬ぞりの開発でした。各地のバリアフリーツアーセンターのスタッフが口を揃え、旭川に行つて犬ぞりに乗りたい！と言っているほどの人気ぶりです。





barrier free tourism

旅行者を基準にしたバリアフリー観光

バリアフリー 観光相談センターを 開設しませんか

全国に相談センターを配備

日本バリアフリー観光推進機構は、全国各地に同じ規格でバリアフリー観光を提供する相談センターができることを目指しています。

各地の相談センターがバリアフリー観光を開発した当初の目的は、バリアフリーマーケットの先行的獲得でした。

しかし先行的獲得に成功すると、利用されたお客さま方から、他の観光地にも同じシステムがあればいいのにという要望が出されるようになりました。

そして私たちも、実績を生み始めたパーソナルバリアフリー基準を、わずかな地域だけで運用するのは、まだ見ぬお客さまたちを自宅に閉じこめ、巨大なバリアフリーマーケットを埋もれさせてしまうことだと考え始めたのです。

そのため、日本バリアフリー観光推進機構の大きな目的の一つは、新たなバリアフリー観光地の開発拡大となっています。

勉強会から始まります

バリアフリー観光に取り組みようになった観光地の多くが、先進地から学ぶ『バリアフリー観光勉強会』を開催することから始まっています。

バリアフリー観光勉強会は、かつては伊勢摩バリアフリーツアーセンターが提供していましたが、今では日本バリアフリー観光推進機構が組織的に提供を行うようになっていきます。

勉強会には、観光事業者、行政の観光および福祉担当部署、そして地元の障がい者やまちづくりに関心な市民、つまり「市民」「企業」「行政」のみなさんを集めていただきます。社会をかたち作る三者が手を合わせなければ、この事業が大きな進展を見ることがないからです。

●勉強会では、

- ① バリアフリー観光の将来性
- ② パーソナルバリアフリー基準
- ③ 観光によるまちづくり

などがわかりやすく語られます。

今まで、ほぼ全ての地域が、勉強会を終えると同時に、バリアフリー観光の推進組織づくりに取りかかりました。

その後の進み具合は、それぞれの地域の事情によって違います。しかし、日本バリアフリー観光推進機構では、パーソナルバリアフリー基準や運用方法を指導するだけでなく、それぞれの地域に合わせた最適な組織づくり、スタッフづくり、資金調達などのアドバイスも行っています。

バリアフリー観光が実現する道筋のアドバイスを一貫して行うことのできる実践型組織が、日本バリアフリー観光推進機構なのです。

●各地の組織の成り立ちは様々です

まちづくりを目的とした市民が中心の組織。観光事業者の有志や旅館組合が主体者となっている組織。地元の障がい者グループが始めた組織。その主体となっている人は、各地それぞれ違います。

しかしいずれも、市民、企業、行政の三者の協働によって実現したことは明確です。そして、いずれも行政が資金提供を行っているものの、行政が主体者となって立ち上げられた例はありません。

観光によるまちづくりを、市民の立場から推進しようとする人が集まり、行政が協働への道を選んだときに、バリアフリー観光地実現への道が始まるのです。

相談センターの機能

観光施設等のバリアフリー調査 情報発信・問い合わせ対応



障がいのあるスタッフとともに観光施設、宿泊施設、交通機関などのバリアフリー調査を行い、その情報をWEBを通じて発信するとともに、電話、メールなどによって、個別のご相談に対応します。

バリアフリー研修 (宿泊施設、観光施設等)



観光施設、宿泊施設等において、様々な障がいのある方が来られたときに適切な対応ができるよう、バリアフリー研修を実施します。研修には障がい当事者が講師となり、体験型のプログラムとしています。

建物のバリアフリー改修アドバイス



建物のバリアフリー改修を希望する施設に対して、視覚障がい、車いす利用者など、さまざまな障がいの視点から改修に関するアドバイスをを行います。

人的介助サービス (介助のコーディネート)



足が不自由な方のための入浴介助や、視覚障がい者のための手引き、聴覚障がい者に対する手話通訳者の手配など人の手が必要なるサポートについて、様々な団体や福祉事業所などと連携して、必要となる人材を紹介します。

車いす、福祉機器の貸し出しサービス



特定の施設内ではなく、観光地全体として車いすの貸し出しを行います。宿泊施設に対しては、シャワーチェアの貸し出しをします。その他、必要となる福祉機器についてのレンタルについてご相談に応じています。

バリアフリーアクティビティ



雪の犬ぞり体験、シーカヤック、ダイビング、サンドバギーによる砂丘の登頂など、足が不自由な方でも楽しめる様々なプログラムをご紹介します。また、視覚障がいの方には、モノづくり体験などのプログラムをご紹介します。

バリアフリーモニタリングツアー



旅行会社と連携して、バリアフリーモニタリングツアーを実施することで、対象となる観光地のバリアに関するハード面、ソフト面での課題を浮きぼりにし、改善の方策を提言します。

独自サイトからのバリアフリー 情報発信



各相談センターでは、独自の旅のバリアフリー情報サイトを運営していますので、全国バリアフリー旅行情報サイトとともに、ご利用ください。より地元に着した情報を得ることができます。

※各センターによって取り組まれているもの、いないものがあります



全国フォーラムの開催

日本バリアフリー観光推進機構では、バリアフリー旅行、バリアフリーの観光地づくりをテーマに、障がい者、NPO、行政、研究者、観光関連事業者等が意見交換する全国フォーラムの開催に携わっています。

第1回のフォーラムが、平成23年3月12日に松江市にて、第2回は24年2月26日に仙台市にて開催。そして第3回は伊勢市にて開催された「バリアフリー観光全国フォーラム伊勢大会」です。

フォーラムでは、バリアフリーの観光地づくりを進めることによって、地域をどのように活性化させるか、障がい者の立場からはバリアフリーの旅を実現させるためにもどのような環境整備が必要か、などをテーマにほぼ1日のプログラムで熱い議論が交わされます。日本バリアフリー観光推進機構を構成する全国の団体がブースを構えて、各地の観光地自慢、バリアフリーの取組自慢をPRするというのも、このフォーラムのユニークな点です。

日本バリアフリー観光推進機構では、これからも毎年全国各都市にて、バリアフリー観光をテーマにしたフォーラムを開催していく予定です。



仙台での全国フォーラムの様子



松江フォーラムの各ブースの展示

全国バリアフリー旅行情報サイト

総合的な旅の バリアフリー情報サイト

日本バリアフリー観光推進機構が運用するWEBサイト「全国バリアフリー旅行情報」は、北海道から沖縄まで全国の観光地に関するバリアフリー情報を提供する、日本最大級の総合的なバリアフリー旅行情報サイトです。観光施設、宿泊施設、交通機関、飲食施設、トイレ情報など、旅の道中で必要となる施設情報をすべて網羅し、かつ個々の情報は詳細な調査項目にのっとりきめ細かな内容が記されています。また、1施設につき数十枚の写真を紹介することで、どのようなバリアがあるか、バリアフリーになっているかを旅に出る前に確認することができます。

その膨大な情報をもとに、旅行される方が各地域の相談センターに電話、メール等によりご連絡いただければサイト内の写真などでは読みとれない現地の状況についてもスタッフがより詳細なご説明をすることができます。また、バリアフリー調査を行っているスタッフが問い合わせ対応を行っていますので、旅行される方の身体状況に即した丁寧なご説明が可能となっています。





「旅のカルテ」システム

全国バリアフリー旅行情報サイトには、「旅のカルテ」システムをご用意しています。

お客様の安心な旅をご提案するために、障がいのタイプや程度、さらに旅に関するご希望などを聞き取り、その情報を管理、共有するシステムです。問い合わせをいただいた相談センター（バリアフリーツアーセンター）にて、情報を登録させていただきま。この情報はシステム上、厳重に管理された上でお客様のご了解のもと、日本バリアフリー観光推進機構のネットワークである17のセンターにおいて相互に情報共有することができま。そのため別の地域に旅をするときに、他のセンターにおいて同様の聞き取りがなくお客さまにとってもたい

へん便利な仕組みです。なお、登録はご自身ですることも可能となっております。

旅のコミュニティ

『旅のコミュニティ』は、全国バリアフリー旅行情報サイトをご利用いただくみなさまのためのSNS（ソーシャルネットワークシステム）です。

バリアフリー旅行を楽しまれる方同士の情報交換、相談センターやサポート団体のメンバーとのコミュニケーションなどにご利用いただける他、最新のバリアフリー観光情報も入ってきます。

ネット上のコミュニティですが、招待制になっており顔の見える関係づくりを目指した運営をしています。相談センターへ旅のご相談などをされる際に、合わせて旅のコミュニティに参加したい旨をお伝えいただければ、各センターを通じて登録させていただきます、すぐに利用が可能となります。

具体的な機能としては、登録者がオリジナルのブログを開設することができること、談話室の機能などを有していますが、中でも特徴的なこととして全国のバリアフリーツアーセンターがSNS機能を用いたブログを日々アップデートしており、各地域の最新情報を得ることができます。

全国バリアフリー旅行情報サイト

デイジーによる情報提供

全国バリアフリー旅行情報サイトには、「デイジー情報」というメニューがあります。これは、Digital Accessible Information Systemの略で、一言でいうと誰もがアクセスしやすい情報システムの規格です。ここ数年來、視覚障がい者や識字障がい者（文字を読むことが困難な方）のために、カセットや、従来の音声CDに代わる、新たなデジタル録音図書の国際標準規格として開発されたものです。

近年、小型で持ち運びが容易なデイジー専用再生機が発売されたことで、視覚障がいの方も旅先で読書をする（録音図書で様々な情報に接する）ことができるようになりました。しかし、これまで全国でもデ



ジー化された観光パンフレットはほとんどなく、全国の観光情報が統一されたフォーマットで紹介されているサイトがありませんでした。本サイトでは、視覚障がい者など

デイジー端末、あるいはデイジー再生が可能なPCを利用される方のために、全国各団体地域の観光情報をデイジー規格によりデータ化し、誰もが無償でダウンロードできる仕組みを構築しました。観光情報をデイジー化することで、視覚障がいのある方、識字障がいのある方にも各地の魅力を知っていただき、旅にできるきっかけにしたいと思っています。

アクセスしてください！

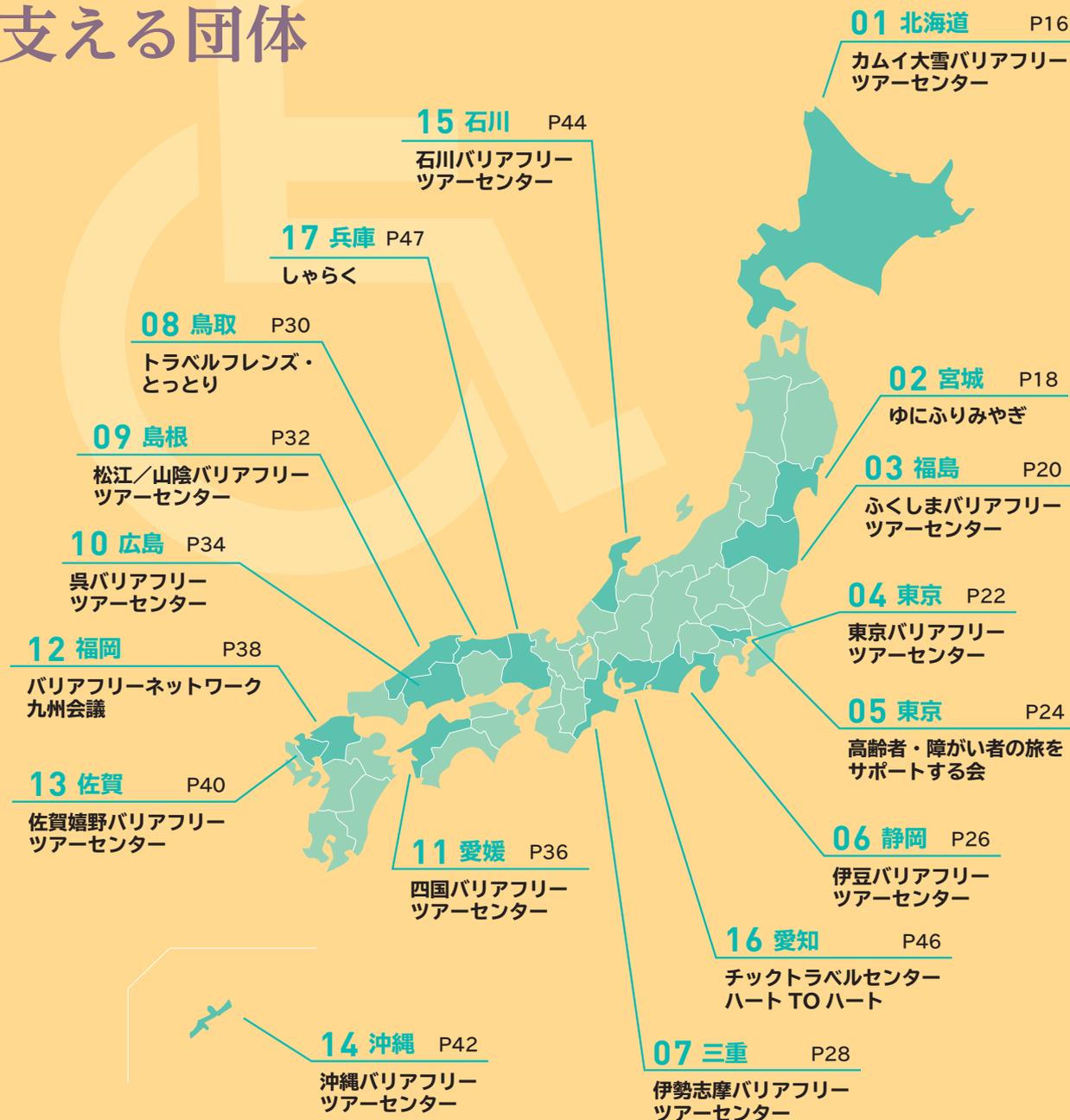
全国バリアフリー旅行情報

検索

<http://www.barifuri.jp>



全国の バリアフリー観光地を 支える団体



01

BARRIER FREE TOURISM

カムイ大雪バリアフリーツアーセンター

アクティブなスタッフが開拓 イベントも犬ぞり体験も 「したい」ことが叶えられる北海道

雪が降ればバリアフリー？

「過ごしやすい初夏の北海道も人気ですが、やはりおすすめするのは銀世界の冬。雪が積もれば、「普段は段差のところも、自然とフラットになるんですよ」と、カムイ大雪バリアフリーツアーセンター(以下、カムイ大雪BFTC)の元氣いっぱいな「車いす紅蓮隊」と呼ばれるスタッフが笑いながら教えてくれました。雪慣れしていない車いす利用者に雪への注意事項や対策なども丁寧に教えてくれます。

アイススレッジホッケーやクロスカント

リースキー、車いすカーリングなどの国際大会が開催される障がい者スポーツが盛んで、誰にもやさしい街としても注目されている旭川。この地のバリアフリーツアーセンターで特
徴的なのは、
アクティブな
若い車いすス
タッフたちが
「自らがした
いこと」を実
践体験し、ど
んどん実現化



UD神輿で大盛り上がり、夏の北海道も熱い！

旭山動物園から犬ぞり体験まで
問い合わせトップの旭山動物園は、言わずと知れたみなさん足を運ぶスポットのひとつ。坂道が多い動物園ですが、カムイ大雪BFTCでは、身体が不自由でも楽しめるよう色分けした勾配情報を写真



旭山動物園の気持は絶大、北海道の人気観光コース

していること。
たとえば毎年車いす参加者が40〜50名は集まるという、旭川夏まつりの「UD神輿」。神輿といってもただの神輿ではなく、足もとにコロがついていて車いすでも担げる神輿なのです。みんな汗をかいて笑顔で担いでいる姿が印象的。

案内の対象エリア
北海道全域

INFORMATION

カムイ大雪
バリアフリーツアーセンター

〒078-8368
北海道旭川市東旭川町旭正315番地2
TEL 0166-38-8200
FAX 0166-38-8211
<http://www.kamui-daisetsu.org/>
営業時間：9:00～17:30 土日祝定休
事業開始：2011年～



あさひかわ雪あかり 車いすの仲間達であかりを灯しています



あかりなどの冬のイベントでも、アイスキャンドル制作などで障がい者、高齢者が楽しめるバリアフリー化が進められています。

また、あさひかわ雪あかりなどの冬のイベントでも、アイスキャンドル制作などで障がい者、高齢者が楽しめるバリアフリー化が進められています。そして現在カムイ大雪BFTCのイチオシのアクティビティがバリアフリー



旭山動物園で大人気のペンギンの散歩 車いす優先スペースもあります

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（介助のコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

- 雪道に対応できる車いす「アクロ」を貸し出し



や動画で確認することができるマップをHPで公開しています。写真を見て、どのルートが最適か自分で確認でき、GPSを使い現地でも自分の居場所を知ることができなのがこのマップです。冬の雪道対策にも秘密兵器の「快適アクロ」を貸し出し(有料)してくれるので安心。

旭川冬まつりでも同じように安心して楽しめるよう坂道段差マップを公開しています。



座ったまま、寝たまま、それぞれの身体の状態に合わせて犬ぞりも楽しめる

の犬ぞり体験。真っ白い雪景色の中を犬に引かれて爽やかに走るそりなんて憧れます。そのそりに立っ

たまま、座ったまま、寝たまま、それぞれの状態に応じて乗れ



バリアフリー調査は、車いすスタッフが同行



こんな雪でも雪道対策の秘密兵器アクロを利用すれば、楽々

のコーディネートも行い、日々のお客様の問い合わせに車いすスタッフ3名を含む5名が対応しています。

02

BARRIER FREE TOURISM

ゆにふりみやぎ

杜の都仙台から、日本三景松島 そして、世界遺産の平泉 バリアフリー観光で東北の復興を

震災を越えて、バリアフリー観光へ

震災から2年が過ぎ、東北地方の観光地も復興に向けて前進しています。

東北で最初の政令指定都市でもある仙台市は、街並みがかともきれいに整備されています。なかでも定禅寺通りのケヤキ並木は仙台を代表するストリート。初夏にはケヤキ並木が青く芽吹く中で、日本最大規模のバリアフリー音楽イベント「とっておきの音楽祭」が開催され、9月には定禅寺ストリートジャズフェスティバル、12月にはSENDAL光のページェントと、四季折々の

姿をみせてくれます。

定禅寺通りと並ぶ観光地と言えば、青葉城跡(仙台城址)。400年以上前、伊達政公が青葉山に築城し、現在では城そのものは残っていませんが、石垣や戦後に作られた青葉城脇櫓が当時を彷彿とさせ、またその天守台跡から仙台の街が一望できます。雄々しい伊達政公の騎馬像も見逃してはいけません。

現在、この青葉城跡へのルートは震災による影響で石垣が崩落し、本来のルートよりやや時間はかかってしましますが、車の場合は向山〜八木山動物園及び東北大学

案内の対象エリア

仙台市、秋保温泉、作並温泉、松島、白石市、大崎市、岩手県平泉町

INFORMATION

特定非営利活動法人

ゆにふりみやぎ

〒983-0851

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地

みやぎNPOプラザ内

TEL 022-293-9505

(常駐者不在のため折り返しご連絡)

FAX 022-293-9505

<http://www.uf-miyagi.jp/>

営業時間：10:00~16:00 日・月曜定休

事業開始：2011年~



観光船内には車いす席も設けられている



松島での観光遊覧船の乗船

工学部経由で、仙台駅からタクシーで30分ほどで到着します。日本三景である松島も、もちろん外せません。マリナーズト塩釜は、松島の海の玄関口であり、観光遊覧船だけでなく、塩釜の各離島への市営汽船の発着所にもなっています。

一部の遊覧船内は車いす席を設けるなど、バリアフリー化されており、松島をゆっくり巡ることができます。

栈橋から船に乗り込むときは少しの段差



はあるものの、船員さんが快くフォローをしてくれるので安心です。

東北全体の情報収集発信も目指す

また、ゆにふりみやぎでは、県を越えて、平成23年に世界文化遺産登録された平泉の案内もお任せあれ。平泉は仙台から東北自動車道で約1時間半の距離にあり、全国各地から観光客が訪れています。

平泉町内には遺産登録された寺院が点在しておりますが、中でも平泉のシンボルである金色堂がある中尊寺は、勾配がきつく、単独での車いすではかなり厳しいところがあります。そのため複数人での参拝をおすすめします。

第二駐車場から金色堂覆堂までの長く急な勾配を上げれば、周囲にはトイレやスロープなどがあり、バリアフリー化は進んでいます。しかしながら境内は舗装されていないところも多く、雨天や冬積雪時期などは事前の情報収集を怠りなく。

平泉のもうひとつのシンボルでもある毛越寺は、極楽浄土を模した「浄土庭園」が見もの。車いす対応トイレや宝物館に上るエレベータも設置され、安心して参拝ができます。

中尊寺参道前の平泉レストハウスには、バリアフリー化に取り組むレストランとお



せんだいメディアテークは、様々な障がい者に対応している

土産物屋さんがあり、ハードはもちろんのこと、スタッフの皆さんがおもてなしの心でお待ちしております。

ゆにふりみやぎは、平成8年、自ら車いすを利用する代表が東北福祉大学在学中に立ち上げ、仙台市内のバリアフリーマップを発行したことから始まっています。昭和40年代後半に、全国に先駆けてまちづくり運動が起きた「福祉のまちづくり発祥の地」という仙台ですが、外出情報が少ないという声を聞き、本格的な活動としてマップ作りを行い、現在は東北にたくさんの人たちが観光に訪れるようにと、「ゆに」バースルでバリア「ふり」な観光への



町のバリアフリーチェックも

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
△	独自サイトからのバリアフリー情報発信
—	人的介助サービス（介助のコーディネート）
○	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
○	バリアフリーモニタリングツアー
—	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
○	建物のバリアフリー改修アドバイス



ゆにふりみやぎ伊藤代表



仙台サンプラザホテル、バリアフリールームの浴室は、洗い場が車いすの高さに上げられている



宿泊施設のバリアフリー調査

力を注いでいます。

03

BARRIER FREE TOURISM

ふくしまバリアフリーツアーセンター

案内の対象エリア

福島市、二本松市、伊達市、会津若松市、猪苗代、裏磐梯、郡山市、いわき市、相馬市

INFORMATION

特定非営利活動法人
ふくしまバリアフリーツアーセンター

〒960-8031
福島県福島市栄町1-1 福島駅西口2F
TEL 024-531-7382
FAX 024-531-7382
http://www.fukushima-bftc.jp
営業時間：10:00～18:00
木曜、年末年始定休
事業開始：2009年～

駅ナカの好立地、 観光コンベンション協会と連携した バリアフリー旅行企画も

花の福島・果物の福島

福島市のいちばんの見どころは、磐梯吾妻スカイラインです。「日本の道100選」にも選ばれたこの道は「つばくる谷」など多くのビュースポットがあります。スカイラインのほぼ中間に位置する浄土平レストハウスは車いす対応トイレがしっかりと整備されており、車いすの方も安心です。またフルーツラインと呼ばれる果樹畑の間を縫うように走る道沿いでは、様々な種類の果物狩り体験ができ、車いす対応トイレを用意している観光果樹園もあります。



浄土平ビジターセンターからつながる遊歩道



黄色のジャンパーを着た方がふくしま花案内人さん。車いすを押す方が花さばのボランティアさん。花の説明を受けながら押してもらるので、一緒に来られた家族の方にも喜ばれている。

春には市街地に比較的近い花見山は桜の名所として知られ、満開となる4月中旬には多くの観光客が訪れます。福島市をもっとも代表する観光スポットのひとつとして観光ポスターの写真などに多くとりあげられています。

「花さば」花

見山サポート」のボランティアさんとふくしま花案内人さんをコーディネートしてお花見を楽しんでいただいています。

さらに福島市の

南西部に位置する四季の里は吾妻連峰を仰ぎ見ることが出来る広大な洋風公園で、季節の花が咲きそろっています。障がいのある方もゆっくり楽しめるガラス工芸や絵つけの体験もできます。

福島県内にまで、みどころスポットを広げると、全国的に最も有名なのは会津・猪苗代地域です。中でも会津若松市は会津鶴ヶ城を中心に自刃の悲劇が語り継がれる白虎隊の舞台で、県内外から一年を通して多くの観光客が訪れます。バリアフリーな視点ではソフト面での対応も素晴らしいものが



四季の里いちご園では車いすでもいちご狩りを楽しむことができる

福島市観光案内所
ふくしまバリアフリーツアーセンター

ふくしまバリアフリーツアーセンターは、JR福島駅西口新幹線改札の真正面にあり、福島市・二本松市・伊達市・相馬市の4市から構成されるふくしま観光案内所も兼ねた福島市観光案内所に併設されています。所内には様々な観光パンフレットや観光土産が陳列され、福島市観光PRキャラクター「ももりん」のグッズが販売されて

あります。また、全国で三番目の面積を誇る猪苗代湖も福島県を象徴するシンボルとなっています。さらに会津磐梯山を背景として、その周辺にも多くの観光スポットがあり、野口英世記念館など、いずれもバリアフリー設備が充実しています。

改札口前にツアーセンター



無料貸出車いす



障がい者の旅行を支援するためのボランティアセミナーを開催

います。バリアフリーツアーセンター長の佐藤由香利さんは車いす利用者で、調査スタッフとともに福島市内を中心に主な観光スポットや宿泊施設のバリアフリーの調査を行い、その情報をホームページで発信しています。その一方で、障がい者の旅行を支援するボランティアセミナーの開催、車いすやシャワーキャリーの無料貸出サービスなど、障がいのある旅行者受け入れの環境づくりを幅広く行っています。

発行物

ふくしまバリアフリー
ツアーセンター
パンフレット

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
○	人的介助サービス（介助のコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
○	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

- ボランティアのコーディネート
- ㈱福島市観光コンベンション協会と共同での旅行商品企画

観光コンベンション協会と連携した取り組み

ふくしまバリアフリーツアーセンターの理事は各地の観光協会の会長、各種の障がい者団体の代表、建築設計事務所主宰者など、多彩なメンバー14人から構成されており、理事長である渡邊和裕さんは福島市を代表する温泉地、土湯温泉観光協会の会長でもあります。ツアーセンターは（社）福島市観光コンベンション協会と様々な連携を持っており、オリジナルのバリアフリー旅行商品の企画なども行っています。

04

BARRIER FREE TOURISM

東京バリアフリーツアーセンター

東京の下町から関東広域観光から 地方観光への案内まで 着地と発地の両方に対応

情緒あふれる下町で人力車体験

下町情緒あふれる浅草周辺は東京観光のメッカ。浅草寺本堂へのエレベーターが設置され、都内最古の寺でありながら、バリアフリー化への努力が見受けられます。仲見世商店街ではお店に段差などがあり、入りにくくても、スタッフが外まで商品を持ってきてくれるなどの心遣いも。一年中人でにぎわっているため、お祭り気分を味わうのには恰好な場所です。そんな浅草で、頼もしいサービスを展開してくれるのが人力車。車夫さんが浅草の歴史や建物、出来事

など面白おもしろく話をしながら巡ってくれます。車いす利用者の方は、車夫さんが抱えて乗せてくれます。さらに車いすを人力車の後ろにロープでくくりつけてもらえるので、移動先で降りることも可能です。現在は、浅草寺前から東京スカイツリーまで行って、写真を撮って帰ってくるコースもあり、試してみる価値あります。



障れの人力車にも乗れる、浅草からスカイツリーへのコースも

また、東京で昨今注目を浴びているのは平成24年完成のスカイツリーですが、東京タワーも忘れてはなりません。日中を浅草などで過ごしたら、夕方く夜は東京タワーで。夕方は赤く染まる街並みを、夜は光り輝く夜景が見えます。たくさんの人たちが来訪する東京タワーですが、施設内に入ると、スタッフが駆け寄り、サポートの必要を確認するなど、ソフト面は安心できる対応です。

問い合わせで一番多いのが皇居。参観が午前10時と午後1時30分からの2回行われており、申し込み制。参観者全員で歩いて移動する所要時間は1時間30分ほど。道中にはかなり急な坂があり、車いすの方はツアーセンターまで相談してみてください。



東京タワーからの夜景はロマンチック

案内の対象エリア

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

INFORMATION

特定非営利活動法人
東京バリアフリーツアーセンター
東京都知事登録 旅行業者代理業 11166号
〒136-0074 東京都江東区東砂1-3-2-319
TEL 03-3646-3544
【事務局】
〒121-0062 東京都足立区南花畑 2-21-16
リムジンケアサービス内
TEL 03-5831-1731
FAX 03-5831-1732
http://www.t-bftc.org
営業時間：10:00～19:00
日祝・年末年始定休



海の香りも感じられる江ノ島水族館は、館内全体的にバリアフリー、生き物を触れるコーナーもあり



靖国神社は第一層の前に坂があるため、タクシーで第二通路まで行けば、参拝もスムーズ



箱根町～元箱根～桃源台を周遊する遊覧船
3種類の船のうち1隻がバリアフリー船



長瀬ライン下りは、スタッフが介助
下った先に車いすを運んでおいてもらえるので安心

また、自分のペースでという場合は、「皇居東御苑」なら予約なしで散策できます。また、無人運転のゆりかもめでは、運が良ければ、運転席にも座ることが出来て、新鮮な景色が楽しめます。新橋または豊洲から空いている平日の時間帯に乗れば、結構な確率で陣取れるとか。もちろん、お台場地区は新しい街なので、バリアフリー化は進んでいます。

このほか、横浜中華街をはじめ、赤レンガ倉庫や大桟橋、ラーメン博物館にランドマークタワーと、一度は聞いたことあるような観光地がギッシリな横浜地区や、都内から青いロマンスカーに乗って1時間半程で行ける、温泉観光地・箱根、誰もが憧れる東京ディズニーリゾートまで、広域のバリアフリー観光情報を持ち合わせる東京バリアフリーツアーセンター（以下東京BFTC）では、車いす利用者である理事長の視覚障がい副理事長など障がい当事者のスタッフが多数在籍しており、障がい者の立場で旅行のご提案やご案内ができます。



平日の日中ならゆりかもめの運転席を陣取ることができるかも

着地、発地両方対応の東京BFTC

東京BFTCは旅行業者代理業の資格を持っており、東京へ行きたい「着地」だけ

なく地方などの観光に行きたいという「発地」の両方に対応してくれるので便利で安心。施設数も半端でない東京だけに、すべてを網羅しているわけではありませんが、主要なところや協力的なところは、調査済です。しかし、問い合わせがあった場合によっては改めて確認、また希望に添える施設がなかった場合は、時間をもらって調査へ行くなど、少しずつトリトリを広げつつ、情報拡大する努力も怠っていません。

車いすなどの福祉機器の貸し出し（有料）も、ホテルや駅など現場までの配達付で対応。簡単なサポートのみのボランティア、見守り程度のサポート、ヘルパーや介護資格が対応する身体介助を伴うサポートの3段階にわけた、有償介助サポートを派遣してくれるサービスもあります。

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
○	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（介助のコーディネーター）
○	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
○	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

□ 旅行業者代理業の資格を持っている為、発地着地両方対応

05

BARRIER FREE TOURISM

高齢者・障がい者の旅をサポートする会

頼もしい旅のパートナーはお任せあれ 外出に関わるサポート全てをフォロー 着地型ならではの情報網もバッチリ

観光から出張、海外まで
サポートを対応

車いすの介助はもちろん、トイレ、お風呂、ベッドへの移乗など外出全般に関わるサポートの全てを有償でお手伝いしてくれる、「NPO法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会」。東京、神奈川、千葉、埼玉など関東を中心に、全国各地に現在、160名の旅サポーターが在籍しており、旅の全行程同行ばかりでなく、着地型の旅サポートを目指しています。土地勘はもちろん、地元民ならではの情報も持ち合わせているな

ど、頼もしい旅のパートナーが期待できそうです。

東京の観光なら、浅草からスカイツリーを見て、平成24年冬に開通したばかりの恐竜橋ことゲートブリッジを渡り、さらにレインポープリッジをまわって、お台場へ。そこからさらに、春には隅田川で花見な



東京と言えば浅草、雷門、エレベーターで上がって浅草寺内でお参りを

んてのもいいでしょう。「途中にね、美味しいお店もあるのよ」と、代表の久保田さん。障がい者、高齢者にかかわらず、旅行の楽しみが何であるかもよく理解しています。また、海ほたるで東京から横浜へ、木更津で桜を見るコースもおすすめとか。東京デイズニールゾットを楽しむときは、デイズニールランド&シーを合わせると一日では回りきれないので、1〜2日かけて満喫することがおすすめです。これらのコースにも全て旅サポーターがついてくれます。お客様の行きたいところを聞き取りながら効率よく回る方法をアドバイスし、コースを立ててくれるのもうれしい。観光コースが決まれば、さらにコース



東京の新しいシンボル、スカイツリーは必見

案内の対象エリア

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

INFORMATION

NPO法人

高齢者・障がい者の旅をサポートする会

〒153-0064

東京都目黒区下目黒4-23-24

TEL 070-5081-7404

FAX 03-3716-8505

<http://www.tabisupport.org>

営業時間：9:00～18:00 日祝定休

事業開始：2008年～



他、通信料として「NPO法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会」へ旅行1日につき1,000円と、旅サポーターの宿泊費や交通費、施設料は利用者さんが負担。宿泊以外の食事代や旅行保険などは、旅サポーターが自ら支払います。

料金設定は、お客様のお送り迎えの交通費に1,500円(1,500円以上の場合)は実費)と、1時間800円。1日の上限は8時間であるため、宿泊を伴う旅行でも、1日6,400円以上にはならないのが良心的。これらは、サポーターに支払われます。

充実した講座によるサポーター育成

行サポートにも対応してもらえます。

の下見をし、新しい情報をもとに当日介助兼ガイドをしてくれます。そんな丁寧な対応を心がけるため、リーダーも多く、旅サポーターの指名もあるなど、信頼関係も築かれています。関東地区中心に活動している故に、地方からの仕事の出張や会議の同行サポートにも対応してもらえます。



諦めていたことも、旅サポーターがいれば、叶う旅に(釧路川カヌー下り)



実践にもとづく研修に、旅のサポートへのモチベーションもあがる



段差における介助方法も、旅には必須類もしい旅サポーターが生まれる

「高年齢者・障がい者の旅をサポートする会」のバリアフリー旅行に対する姿勢が見えてきます。

また、年2回行われる旅サポーター養成講座の充実が、安心してサポーターを依頼出来る理由と言えるでしょう。旅を医学的立場からお話いただける三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長の長谷川幹生をはじめ、魅力ある講師陣の揃った濃縮した講義です。2日間にわたる養成講座の受講料は14,000円。受講終了すれば「旅サポーター」の認定資格が授与され、各地での旅サポーター要請時に活躍することになります。

これらの講座では新たなサポーターの育成、認定だけでなく、これまでのサポーターのスキルアップの内容も盛り込まれているのも、「高年齢者・障がい者の旅をサポートする会」のバリアフリー旅行に対する姿勢が見えてきます。

発行物



たびさぼ会報

事業コンテンツ

○	観光施設等のバリアフリー調査
○	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス(介助のコーディネート)
◎	バリアフリー研修(宿泊施設、観光施設等)
△	バリアフリーモニタリングツアー
—	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
○	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

- 主に、介助サポートを主としているため、お出かけに不安をお打ちの方には便利なサービス。



私たちが旅の相談やコーディネートを対応



頼りになる旅サポーターが対応(同性介助が基本)

東京見物2日間の旅にイザ出発!

06

BARRIER FREE TOURISM

伊豆バリアフリーツアーセンター

伊豆半島全体を対象に 障がい者・高齢者にやさしい 観光施設をきめ細かく紹介

MOA美術館、伊豆ガラス工芸館など
バリアフリーが充実

太平洋を望むMOA美術館



首都圏から近い伊豆半島には、海、山の景勝地、観光施設が多数ありますが、この中でバリアフリーの設備、ソフト面での対応が特に充実している施設を紹介します。
熱海市にあり太平洋を見はらす立地にあるMOA美術館は伊豆最大の美術館で、尾形光琳の「紅白梅図屏風」

やモネの「睡蓮」などの所蔵品はあまりに有名です。段差は解消されており、車いす対応トイレも充実しています。



視覚障がい者も楽しむことができる伊豆ガラス工芸美術館

伊東市にある伊豆ガラスと工芸美術館は、こじんまりとした雰囲気ガラスアートを中心とした美術館です。体験工房では障がいのある方も、ステンドグラスやアークセサリー等の制作を楽しむことができ、と



伊豆洋らんパークは車いすでも自由に園内を回れる

でも好評です。
伊豆の国パノラマパークは、ロープウェイでかつらぎ山へ片道7分の空中散歩。晴れた日には富士山も望めます。車いすもスタッフの介助で乗車可能で、スタッフがとても親切に対応してくれます。伊豆の新鮮食材を生かしたバイキングレストラン、充実したお土産コーナーがあり、エレベーターや車いす対応トイレも完備しています。

案内の対象エリア
伊豆半島全域

INFORMATION

伊豆バリアフリーツアーセンター
特定非営利活動法人NPO伊豆

〒410-2315
静岡県伊豆の国市田京195-2
TEL 0558-76-1630
FAX 0558-76-6262
<http://bf-ud.com/>
営業時間：10:00～16:00 年中無休
事業開始：2009年～



ツアーセンターの入居する道の駅伊豆のへそ



エヌピーオー伊豆バリアフリーツアーセンターは道の駅伊豆のへそ、観光案内所があり、伊豆の国市観光協会により運営されています。バリアフリーツアーセンターの内田隆久代表は、道の駅の駅長でもありません。伊豆半島の入り口に位置し、伊豆の国市だけでなく、伊豆半島全体のインフォメーション機能を果たしていることから、観

道の駅伊豆のへそ バリアフリーツアーセンター

同じく伊豆の国市にあるみんなのハワイアンズは、ガラス張りの大温室に年間を通して約500種類、2万株のランが咲き、南国の鳥たちが飛び交います。カピバラ、ミリアキヤットなどかわいい動物にも出会えます。温室内は車いす移動が可能で植物展示の位置や、高さなどにも配慮があります。

東伊豆町の伊豆アニマルキングダムは、身近に動物たちと対面できる観光施設で、ホワイトタイガーにも出会えます。園内には坂道が多いため車いすには介助者が必要ですが、すべて段差のない園路となっています。

他のバリアフリーツアーセンターにない特色として、地元の建設業協会と連携して、宿泊施設や観光施設などのバリアフリー改修を推進していることがあげられます。バリアフリー対応施設を観光客に周知する仕組み作りや、バリアフリー化工事の技術習得などを目的に活動しており、バリアフリー工事対応業者のリストアップやバリアフリー改修促進のためのリーフレットの作成、未対応施設の改修促進などにも取り組んでいます。



ツアーセンターの働きかけで実現した車いす対応トイレ改修

建設業協会と連携した バリアフリー改修

光施設に関してのバリアフリー情報収集、情報提供についても、伊豆半島全体を幅広く網羅しています。伊豆バリアフリーガイドブックの発行や、平成22年には伊豆バリアフリー観光フォーラムを開催するなど伊豆全体のバリアフリー観光をけん引しています。



ホームページ「伊豆バリアフリーガイド」

発行物



伊豆バリアフリーガイド



ハートフルファイル



伊豆バリアフリー改修ヒント集



事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（介助のコーディネーター）
△	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
—	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

- 【その他の独自サービス】
- 2010年に伊豆バリアフリー観光フォーラム開催
 - 建設業協会と連携したバリアフリー改修の取り組み

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

案内の対象エリア
三重県内全域
(特に伊勢市、鳥羽市、志摩市)

INFORMATION

特定非営利活動法人
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

〒517-0011
三重県鳥羽市鳥羽一丁目2383-13
TEL 0599-21-0550
FAX 0599-21-0585
http://www.barifuri.com/
営業時間：9:00～17:00 木曜定休
(春・夏・冬休みなど、繁忙期は無休)
事業開始：2002年4月～

日本初のバリアフリー観光システム お伊勢参り、潮騒の海、テーマパーク 伊勢志摩の魅力が全てバリアフリーに

一生に一度のお伊勢参りも
バリアフリーに

バリアフリー観光の問い合わせが最も多
いのが伊勢神宮。年間1万人を超える車い

す利用者が参拝しており、平
成25年秋には式年遷宮を迎え
るため、その勢いは止まりま
せん。2000年前から変わ
らぬ景色と趣に「一生に一度
はお伊勢さんへ」という言葉
がふさわしい参道。玉砂利の
参道は、神宮で貸し出すタイ

に伊勢志摩バ
リアフリーツ
アーセンター
(以下伊勢志摩
BFTC)に相
談すれば、サ
ポートボラン
ティアを手配

ヤの太い電動車いすを利用すれば、楽に進
むことができます。正宮前の石段は広くて
上がりやすく、両端に手を添える石垣があ
ります。歩行困難な方は、階段下からの選擇
という方法もあります。また、2週間以上前



神宮参拝サポートボランティアは、2週間前にはご相談ください

してもらうこともできます。

バリアフリー対応旅館も多い鳥羽市は、
真珠の故郷ミキモト真珠島、鳥羽水族館、鳥
羽湾めぐりとイルカ島の三大観光施設へ徒
歩で回れるのが魅力。鳥羽湾めぐりは乗船
時に海の男たち(スタッフ)が軽々サポー
ト。1時間ほどの観光遊覧が楽しめます。鳥
羽水族館は順路がないため長時間楽しめ、
障がい者団体の利用も増えています。

テーマパーク志摩スペイン村。パルケエス
パーニャでは、車いすのまま楽しめるアト
ラクションが17カ所。そのほか、ライドに乗
り込み、自身で身体を支えることができれ
ば楽しめるものがら力所と豊富。園内を難
なく回れるコースも伊勢志摩BFTCがア
ドバイスします。

伊勢志摩のエリア内に、バリアフリー調
査済の宿泊施設は40軒。旅館タイプからホ
テルタイプ、露天風呂付きUDルーム、バリ
アフリー貸切温泉、高齢者向けなど特色も

行けないと思われがちな伊勢神宮も様々なかたちで
参拝が可能に





二見シーパラダイスの海獣たちと盲導犬と一緒に撮影



伊勢志摩ではバリアフリーな海水浴はもちろん、キャンプ場では車いすでバンガローに泊まり、シーカヤックにも乗れます。また海のバリアフリーイベントやマラソン大会、ウォーキングなどのバリアフリー化も実現しました。楽しいのは二見シーパラダイスの、海獣とのふれあいショー。巨大なセイウチやトドの隣に車いすを並べたり、盲導犬と一緒に近づいて触ることもできま

伊勢志摩BFTCでは行政や企業との協働事業にも積極的に取り組んでいます。「伊勢市バリアフリー観光向上事業」では、宿泊施設にバリアフリー化のアドバイスや改修工事の監修を行い、三重県との協働事業「日本一のバリアフリー観光県づくり事業」では、県内各地でバリアフリー観光の勉強会やバリアフリー調査を実施。また、「伊勢旅バリアフリー」事業では、パーソナルバリアフリー基準にのっとった外宮・内宮周辺での歩行者移動支援スマートフォンアプリの開

行政などの協働により活動は三重県全域へ

伊勢志摩BFTCでは、日本で初めて車いすの貸出を広域的にサービスする「どこでもチェア(車いす)」を開始。地域にいる間ずっと車いすを借りられます。また海水浴などのアウトドア用に、砂浜も楽々進むタイヤの太い水陸両用の車いすがあれば、伊勢志摩の海を満喫しています。



タイヤの太い水陸両用の車いすがあれば、伊勢志摩の海を満喫

発行物



「恋に導かれた観光再生」～奇跡のバリアフリー観光の秘密～
特定非営利活動法人
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
理事長 中村 元 著
(1,470円)

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス(介助のコーディネート)
◎	バリアフリー研修(宿泊施設、観光施設等)
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】
□ バリアフリー防災の啓発活動
□ 志摩ロードパーティハーフマラソンでの「バリアフリーパーティラン」部門の運営
□ 5月・8月の「駅ボラ(鳥羽駅ボランティアガイド)」

発に協力しました。今後は、三重県全体を最先端のバリアフリー観光地にするのが目標。伊勢志摩地方から三重県全域へ、伊勢志摩BFTCの活動はさらに拡大していきます。



お土産物屋さんビルの一階に常駐

半露天風呂付きのUDルームもある



自然いっぱい アクティビティも豊富

手配で、入浴時、地元事業所によるヘルパー派遣(有償)も実施しています。

様々。今まで少なかった伊勢市内にも、伊勢神宮(外宮)に徒歩で参拝できる距離の老舗旅館にユニバーサルルームができるなど、バリアフリー対応旅館はますます増えています。さらに伊勢志摩BFTCの

08

BARRIER FREE TOURISM

トラベルフレンズ・とっとり

会員による 充実した 介助サービスを提供

鳥取といえば砂丘

近年では境港の水木ロードが大ブーム

鳥取県といえば誰もが真っさきに思い浮かぶのが県東部に位置する鳥取砂丘です。



車いすでも鳥取砂丘の馬の背に登頂できる

案内の対象エリア
鳥取県全域

INFORMATION

特定非営利活動法人
トラベルフレンズ・とっとり

〒683-0218
鳥取県西伯郡南部町池野553-1
TEL080-6310-1312
FAX0859-64-3171
<http://tottori-hohoho.net/>
営業時間：9:00～17:00 年中無休
事業開始：2007年～

鳥取砂丘から浦富海岸の一带は平成21年に、その美しいリアス式海岸線が世界ジオパークに認定されています。自然公園財団鳥取支部ではサンドバギーを貸し出しており、車いすの方でも砂丘を全身で体感することができます。トラベルフレンズ・とっとりでは、馬の背といわれる丘陵までサンドバギーを引き上げる4人の有償ボランティアさんのコーディネートもしています。

鳥取県西部には中国地方随一の秀峰、大山があります。その美しい山の姿から伯耆富士とも言われ、大山周辺には様々なレジャースポットが点在しています。そのひとつ、大山乗馬クラブでは車いすの方でも乗馬を楽しむことができるよう工夫がされています。

境港市の水木しげるロードは、漫画家、水木しげるの妖怪ブロンズ像がロード沿いにならび、多くの妖怪関連ショップが軒をならべています。歩道は比較的ゆったりとし、

バリアフリーの環境は十分に整っています。ブロンズ像はもちろん触れることができますので、視覚障がい者の方々にも楽しむことができます。

鳥取県には水木ロード以外にも漫画にちなんだ観光スポットがあり、北栄町には名探偵コナンの「青山剛昌ふるさと館」が、倉吉市は谷口ジローの「遙かな町へ」という作品の舞台になっています。



倉吉赤瓦の街並みを案内



バリアフリー研修の様子



富海岸での「ひものづくり」体験のサポートや、水木しげるロードでの手引き介助など、様々な経験を積んでいます。また、知的障がいを持つ方へのサポートに関して積極的であることも、この法人の特色です。

なお、トラベルフレンズ・とっとりの活動は、隣接する島根県松江市のNPO法人プロジェクトゆうあいと連携しています。山陰の両県を旅行したいという方への相談窓口はプロジェクトゆうあいに窓口を一本化しており、両団体が共同で運営するホームページ「てくてく山陰」を通じて両県のバリアフリー情報提供、問合せへの対応を行っています。

視覚障がいの方もスルメづくり体験に参加



鳥取県内を旅行したい、という障がいの方から連絡を受けたときに、車いすの介助や旅館での入浴の介助、視覚障がい者への手引きを担当します。会員は介助に関する一定の講習を受けており、旅行者にとっては安心して身を委ねることができます。山陰ジオパークの浦

介助のノウハウを積んだ会員

トラベルフレンズ・とっとりの会員は県東部から西部まで約20名。福祉施設の経験者や交通事業者のOBなど多彩なメンバーによって構成されています。これらの会員は、

大山に近い山荘が拠点

トラベルフレンズ・とっとりの安川敦子理事長は大阪で長らく養護学校の教員を勤めた経歴を持っており、退職後に移り住んだ山荘の風情を持った建物では、障がい者の一時滞在や、障がい児の見守りなどのサービスを今も行っていきます。



トラベルフレンズ・とっとりの拠点は山小屋のような風情

中国地方最大級のフラワerpark「とっとり花回廊」に近い山の中にある、たくさんの猫たちとヤギのハナちゃん温かく迎えてくれます。そして、この住まいがトラベルフレンズ・とっとりの拠点になっています。

発行物



山陰バリアフリーの旅（無料）

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（介助のコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

□ 車いす、シャワーチェア、簡易ベッド、スロープ等の貸出



目の不自由な方が鳥取砂丘をラクダで観光

09

BARRIER FREE TOURISM

松江／山陰バリアフリーツアーセンター

山陰のバリアフリー観光を トータルに展開 視覚障がい者への独自サービスも

松江城の堀川遊覧船は大人気

松江市にある松江城は、全国で12残る木造の天守閣で国の重要文化財です。当然石

松江堀川遊覧船と盲導犬



段が多く車いすの方には苦心するところですが、迂回路と階段昇降機を用いれば天守閣の真下まで行くことができます。その松江城の周囲には内堀、外堀が取り巻いていますが、この堀をぐるっと一周する堀川遊覧船は観光客に大人気です。

足の不自由な方、目の不自由な方に対しての介助も係の方が十分に研修を積んでおられ、安心して遊覧船を乗降することができます。

出雲大社は島根県でも随一の観光地です。車いすの方には、やはり境内での移動が気になるところですが、参道の脇に車いすの方が行き来しやすい歩行路が設置され、各所にスロープが設けられているなどバリアフリーの配慮がなされています。

世界遺産になった大田市石見銀山遺跡は、古い町並みが続く大森地区と銀山遺跡からなる銀山地区からなります。車いすの

案内の対象エリア
島根県全域
(鳥取県エリアも合わせて受付)

INFORMATION

特定非営利活動法人
プロジェクトゆうあい

〒690-0888
島根県松江市北堀町35-14
TEL 0852-32-8645
FAX 0852-28-1116
<http://tekuteku-sanin.com/>
営業時間：9:00～17:30 土日祝定休
事業開始：2007年～



車いすにもやさしい出雲大社境内

方はゆったりとした雰囲気道の道沿いを散策することができ、銀山の坑道内も入ることが可能です。

島根にはそのほか、どじょうすくいや有名な安来、小京都といわれる津和野、日本海に浮かぶ隠岐の島などの有名な観光スポットがあります。

バリアフリールームの設けられた宿泊施設は、松江エリアを中心として着実に進んでいます。



視覚障がい者へのサービスが充実

松江／山陰バリアフリーツアーセンターがサービス対象としている地域は、島根県及び鳥取県全域ですが、別ページで紹介されている「トラベルフレnds・とっとり」と連携し、鳥取県側を同法人が、島根県側をプロジェクトゆうあいが担当しています。両県の合同の窓口として山陰／松江バリアフリーツアーセンターが運営されています。理事長の三輪利春さんが全盲の視覚障がいであることから、プロジェクトゆうあいの特色として、視覚障がい者向けの音声情報規格であるデジジーを用いた観光パンフレットの作成、弱視者向けの拡大文字パンフレット作成、音声案内システム「てくてくラジオ」の活用など、先進の取り組みを行っています。



サイト - てくてく山陰

取り組みはトータルに

バリアフリーツアーセンターの責任者として実務の中心となっているのは川瀬篤志さんです。島根県内の観光地、宿泊施設をくまなく歩き、バリアフリー調査の実施、調査

をもとにした情報を整理してホームページ上の公開、さらにはガイドブックの形式にしての情報発信も行っています。また、山陰に訪れたいという障がいのある旅行者からの問い合わせを受けて、モデルコース、宿の紹介をはじめ、視覚障がい者には手引き（ガイドヘルプ）スタッフ、車いすの方にはお風呂の介助スタッフのコーディネートも行っています。

中国地方のネットワークづくり

バリアフリーツアーセンターの取り組みとしては、かなり網羅的なサービスを行っており、その取り組みは鳥取、岡山、広島、山口とのネットワークづくりにもつながっています。日本バリアフリー推進機構の設立に関しても、三重県の伊勢志摩バリアフリーツアーセンターとともに、先導的な役割を果たしています。平成23年3月には、「バリアフリーの旅を楽しむ全国フォーラム」を松江で開催し、各地でバリアフリー観光の取組みに携わる方々をはじめ多くの方が来場されました。



全国フォーラムの様子

発行物



山陰・山陽バリアフリー観光ガイドブック (1,260円)



障がいのある方へのサポートQ&A集 (200円)



拡大文字版しまねパーフェクトガイドマップ

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（介助スタッフのコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
△	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
○	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

- 観光ボランティアガイド組織と連携した介助サービス
- 観光施設、公共施設へのバリアフリー改修アドバイス
- 視覚障がい者向けの情報発信（デジジー、拡大文字等）

10

BARRIER FREE TOURISM

呉バリアフリーツアーセンター

港町・呉を中心に 世界遺産都市 広島、宮島への旅をサポート

庄巻の大和ミュージアム

呉市は広島市の東に隣接し、瀬戸内海に面した歴史のある港町です。平成17年に開館した大和ミュージアム、正式には呉市海

技術に関する様々な展示物がありますが、中でも庄巻なのは実物の10分の1サイズ、26.3mの戦艦「大和」です。建物のバリアフリー設備は充実しており、視覚障がい者の方は特別に模型を触ることもできます。

呉のお酒「千福」でおなじみの株式会社三宅本店では、製品造りの各工程を見学できる「酒工房せせらぎ」があります。この工場は中国地方の酒造会社としては初めての見学ルートを設けています。入り口段差では

スタッフによりスロープ設置の対応をしているほか、視覚障がい者向けに点字のパンフレットを用意するなど、ソフト面の対応

がとても丁寧です。

入船山記念館は国の重要文化財に指定されている洋館で、呉市の歴史を見学することができるのですが、建物の入口には段差があります。が、可動式のスロープにより対応されています。

音戸町にある清盛塚は、音戸の瀬戸を切り開いた平清盛が、人柱の代わりに二字一石の経石を海底に沈め、難工事を完成したと伝えられています。その向かいには、おん

案内の対象エリア
広島県呉市
(広島市の中心部についても一部相談可)

INFORMATION

特定非営利活動法人
呉サポートセンターくれシエンド

〒737-0029
広島県呉市宝町1-10 交通局ビル8階
TEL 080-6345-5435
<http://www.kuresc.net/ut/>
営業時間：10:00~16:00 月、土日祝日休業
事業開始：2008年~

大和ミュージアム内はバリアフリー完備でエレベーターも各所にあり



事歴史科学館は、現在の呉でもっとも多くの観光客が訪れる施設になっています。造船

てつづくじら館内は車いすでの移動可能



入船山記念館では金唐紙を触ることができる



呉のお酒「千福」の三宅本店内は見学ルートあり



うずしお館のデッキでは海峡を望むことができる

ど観光文化会館うずしおがあり、食事や買い物ができ、車いす対応トイレも完備されています。

呉と広島を結ぶJRは、駅に関するバリアフリー設備は概ね整備されており、列車の車両内にも車いすのスペースが十分確保されています。

呉市の中間支援組織として

呉バリアフリーツアーセンターは、車いすを利用して人、視覚障がいのある人、聴覚障がいのある人、シニア世代の人、小さな子どもを連れて家族などなど、すべての人にやさしい情報を発信し、みなさんの楽しい旅行をお手伝いしたいという思いから誕生しました。NPO法人呉サポートセン

ターくれシエンドは、呉市の市民活動の中間支援組織として様々な事業を展開していますが、くれシエンドの車いすのメンバーを中心として呉バリアフリーツアーセンターが運営されています。

観光スポットに関するバリアフリー情報の収集、情報発信は呉市内が中心ですが、電車、高速道路で40分ほどの距離にある広島平和記念館、その西に位置する宮島などの主要観光スポットについては一定の情報を把握しており、呉から広島、宮島という世界遺産コースについては、その移動手段、宿泊施設を含め、旅行の行程を車いすの方に対してアドバイスをすることができます。

まちのバリアフリー情報を網羅

また、市内については、観光に関するバリアフリーだけでなく、歩道の様子なども含めた幅広いまちのバリアフリー調査を実施した「ハーティマップ」や、車いす対応トイレのマップなども製作し、広く市民に発信しています。車いす利用者であるツアーセンターのスタッフ瀬戸さんが中心となり、様々な方からのお問い合わせに対して、訪れるス



みんなにやさしい観光トイレマップ

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
—	人的介助サービス（介助のコーディネーター）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
—	バリアフリーモニタリングツアー
—	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
△	建物のバリアフリー改修アドバイス

【その他の独自サービス】

- 介助では聴覚障がい者の手話通訳、要約筆記派遣
- 道のバリアフリー改修についてアドバイス実績あり



広島・呉バリアフリー観光ガイドホームページ

ポットのバリアフリー情報、そして旅行行程を含めてとても丁寧に相談に乗ってくれます。

なお、呉バリアフリーツアーセンターのホームページは、誰もが使えるウェブコンテンツ第2回ユニバーサル賞を受賞しています。

四国バリアフリーツアーセンター

案内の対象エリア

愛媛県新居浜市、西条市（松山や四国
全体の旅行についてもご相談可）

INFORMATION

四国 バリアフリーツアーセンター

〒792-0026
愛媛県新居浜市久保田町3-9-27
日本ボランティアサポートセンター内
TEL 0897-32-7616
FAX 0897-32-7616
<http://shikoku-barifuri.com>
営業時間：10:00～16:00 土日祝定休
事業開始：2010年～

世界遺産を目指す 別子銅山のまちから 四国のバリアフリーを案内

車いすの方も十分に楽しめる
マイントピア別子

新居浜市で最も有名な観光スポットは別子銅山です。住友が一大財閥となる礎をつくったと言われており、銅山として世界遺産登録を目指す動きもあります。

別子銅山記念館は、鉱山坑内をイメージし半地下構造となっていますが、入口、建物内ともレベル差はスロープで解消されており、車いす対応トイレも完備しています。銅山のテーマパークであるマイントピア別子は閉山後も残された坑道や建築物を一般公

開するため平成3年に観光地としてオープンしました。広大なパーク内ですが、車いすの方でも十分に楽しむことができます。



マイントピア別子の鉱山鉄道

西条市の四国鉄道文化館には、日本の鉄道史上に燦然と輝く新幹線電車の初代タイプ「0系」の一部と、「DF50形電気式ディーゼル機関車」の1号機が展示されています。西条市の名誉市民、第4代国鉄総裁をつとめた十河信二氏が新幹線建設したことを記念して造られた施設です。館内は小さな段差にもスロープが設置されています。



マイントピア別子は車いすの移動もらくらく

坂の上の雲のまち松山にも

松山市といえば小説「坊っちゃん」の舞台



となった道後温泉があまりにも有名です。その道後温泉の中心となっている温泉施設が木造の道後温泉本館ですが、戦前に建てられた国の重要文化財の建物であることから、残念ながらハード面のバリアーが多いことは確かです。ただし、館内のスタッフが目の不自由な方や足の弱い方にも丁寧に対応していただけます。また本館の隣には足湯もありますので、車いすの方でも十分に温泉情緒を堪能することができます。本館からは200mほどの全天候型アーケードがあり、お土産の買い物も安心です。松山は、NHKのドラマ「坂の上の雲」の放映でも脚光を浴びており、その拠点となる「坂上の雲ミュージアム」は建築家安藤忠雄による斬新なデザインが多くの観光客を引き寄せています。

新居浜市を中心に 四国全体周遊の案内も

四国バリアフリーツアーセンターは、愛媛県の瀬戸内海側、東寄りに位置する新居浜市にあり、NPO法人日本ボランティアサポートセンター、そして車いすバスケットのボランティア団体のコラボレーションにより設立、運営されています。同じ建物内には、新居浜市物産協会も入居しており、情報面での連携を密にしています。センター

が対象としているのは、新居浜市を中心に、その西に隣接する西条市、さらに西に位置する松山市までですが、四国八十八か所巡りなど、四国全体の観光周遊についてもできる限りの情報提供を行っています。また、松山空港からのアクセスやJRなど交通に関するバリアフリー調査をきめ細かく実施しており、旅の移動に関する情報提供にも心を配っています。

疑似体験をした上での バリアフリー調査

様々な施設のバリアフリー調査を実施する前に、その調査を充実したものにするため、高齢者や障がい者の日常の状況を道具を使って疑似体験をする、という手法を取り入れていきます。車いすの大変さや高齢者の体の動かし方、視障がい者の移動



アイマスクをしてのバリアフリー研修



車いす介助研修の様子

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
○	独自サイトからのバリアフリー情報発信
—	人的介助サービス（介助のコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
—	バリアフリーモニタリングツアー
○	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
○	建物のバリアフリー改修アドバイス



バリアフリーツアーセンターの運営メンバー

するときの不安感などを感じた上で、当事者の立場に立って調査に取り組んでいきます。

12

BARRIER FREE TOURISM

バリアフリーネットワーク九州会議

九州で

もつとも人が集まる町、

博多からバリアフリー情報発信

博多天神の屋台、
太宰府など見どころの多い福岡

福岡県の県都福岡市の博多は、九州でもっとも活気あふれる町です。九州一円、そ

して全国から多くの人々を引きつけていますが、中でも人気の高い買い物スポットがキャナルシティです。数百年のテナントが入居する巨大なショッピングセンターで、名前のとおり、建物内のキャナル（運河）がシンボル

になっています。バリアフリー環境は、オストメイト対応トイレ、貸し出し車いす、広めのエレベーター、ベッドなど十分に配慮されたものになっています。

天神エリアは屋台が有名ですが、ぜひ体験していただきたいところで、公衆トイレはあまり充実していないので、規模の大き



キャナルシティにはオストメイトに配慮した設備も

なホテルなどに近い場所を選ぶことがお勧めです。

博多には有数のホテルが立地しており、宿泊料もさまざまですが、ANAクラウンプラザホテル福岡など車いす対応トイレ付のホテルもあります。



博多のANAクラウンプラザホテルは車いすの方が安心して泊まれる部屋がある

太宰府は菅原道真を祭神として祀る天満宮の一つです。初詣の際には九州はもとより日本全国から毎年200万人以上の参詣者があります。境内は介助の人がいれば無理なく移動することができますが、公的なアクセス手段であるJRの車内や太宰府駅のバリアフリー設備は十分ではないため、障がいによっては事前に確認が必要です。

案内の対象エリア

福岡市、北九州市、太宰府市、久留米市、朝倉市、宗像市

INFORMATION

特定非営利活動法人
バリアフリーネットワーク九州会議

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-18-1
PROJECT2100博多駅前308号
TEL 092-411-2200
FAX 092-411-2200
<http://barifuri-kyuusyuu.org/bfnks/bfnks-index.html>
営業時間：10:00～18:00 土日祝定休
事業開始：2009年～

博多のキャナルシティはバリアフリー設備が完備





太宰府に隣接する九州国立博物館



ており、障がい者に対するスタップの対応も非常に丁寧です。 関門海峡に面する門司港は、近代建築が多数保存、再生されたレト



太宰府天満宮は車いすの方も多く訪れる

隣接する九州国立博物館は建築家磯崎新による設計で、大きくうねった屋根とガラスの壁面によって構成される斬新なデザインです。館内のバリアフリー設備は屋根付きの身体障がい者用駐車場や、点字の入ったトイレ平面案内など隅々まで行きとどい

口な街並みが特徴的です。わたせせいぞろいギャラリーの入る旧大阪商船ビルもレトロビルのひとつですが、内部は車いす対応トイレが整備されており、エレベーターも新しいものに更新されるなど、バリアフリーには様々な配慮がなされています。



門司の旧大阪商船ビルはレトロな外観ながら中はバリアフリー完備

博多駅近くに拠点を持ち、車いす貸し出しも

バリアフリーネットワーク九州会議は、平成17年に発足してから、コソツとバリアフリー情報を収集しつつ高齢者や障がい者の旅行への問合せに対応し、平成21年にバリアフリーツアーセンターを立ち上げています。九州各地から、また本土から九州へという場合、ハブ的な存在で新幹線や飛行機を利用した旅の提案をすすめながら、バリアフリー情報を充実させています。 車いす利用者や視覚障がい者、聴覚障が

い者など、観光に不安をもたれる方々に対し、宿泊施設や観光スポット・重要な公共交通機関の利用について、スムーズに伝わる情報をモットーにご案内。福岡県内の案内が中心ですが、九州全体についてもお客さまにあった旅をご紹介します。 博多駅から歩いてほど近い場所に拠点となる事務所を有しており、博多駅内での車いす貸し出しサービスも実施しています。 今後はスタップ常駐のセンターを博多駅の中に立ち上げることを目標としています。

事業コンテンツ

○	観光施設等のバリアフリー調査
○	独自サイトからのバリアフリー情報発信
—	人的介助サービス（介助のコーディネート）
—	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
—	バリアフリーモニタリングツアー
○	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
—	建物のバリアフリー改修アドバイス

佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター

豊富なバリアフリールーム 温泉旅館で心ゆくまで 美肌の湯「嬉野温泉」を堪能

良質な温泉への入浴が実現

日本三大美肌の湯として有名な嬉野温泉、佐賀県西部、長崎県中部をエリアとして活動する佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター（以下佐賀BFTC）。最大の強みは、障がい者、高齢者が憧れる温泉入浴の実現。昔、嬉野温泉へ入りにきたことのある高齢者が「懐かしいわ」と、足腰が不自由になっても温泉を楽しむ喜びを、叶えています。湯船に浸かるのが怖くてシャワーばかりだった方が10年ぶりに入浴、しかも温泉に入れたと大喜びする人もいたそうです。ま

た還暦、古希、米寿などのお祝いなど、三世代・四世代での利用も多いです。

豊富なバリアフリールームと センターの取り組み

この地域のバリアフリー化は、近年目覚ましく進みました。

平成19年に佐賀嬉野BFTCが開設。平成22年に「第5回ユニバーサルデザイン全国大会」が嬉野市で開催されました。大会に向けての県の事業で、佐賀嬉野BFTCがバリアフリーアドバイスをを行い、嬉野地

案内の対象エリア
佐賀県嬉野市、佐賀県西部、
長崎県中部、ハウステンボス

INFORMATION

佐賀嬉野 バリアフリーツアーセンター

〒843-0301
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-55
TEL 0954-42-5126
FAX 0954-42-0361
営業時間：9:00～18:00 日曜、元日定休
事業開始：2007年～

区にそれまで2室しかなかったバリアフリー（ユニバーサルデザイン）ルームが、13旅館20部屋に増加。しかも、

全て温泉旅館。いろいろなタイプの方が利用できるように客室や浴室に工夫がされています。ツアーセンターで貸し出しをしている、シャワーキャリーや浴槽内電動昇降機も入浴の際のフォローに。何よりも、これだけお部屋があれば選べる楽しさにワクワクしてきます。

嬉野市では「ひとにやさしいまちづくり」を推進しており、行政と佐賀嬉野BFTCが一体となりバリアフリー・ユニバーサ



バリアフリー改修したお部屋
誰もが泊まりたいお部屋に仕上がっている



ニューミックスダブルス大会
車いす利用者と健常者がダブルスを組んで戦う

ルデザインへ取り組み、障がい者・高齢者・ベ
ビーカーユーザー・外国人等すべての人が
安心して観光できる、暮らせるまちづくりに
目指しています。その一環として、市民

に親しまれながらも老
朽化のため一旦解体さ
れた「シーボルトの湯」
が、趣を残しつつもバ
リアフリー設計で新た
に復活。日帰り入浴の
お客さまにも大変喜ば
れています。毎年行わ
れているニューミック

ステニス大会や湯らっくすコンサートも恒
例行事として浸透しています。嬉野地区を
中心として、佐賀県内にバリアフリー化が
波紋のように広がっているようです。

福祉車両のレンタカーも

もちろん、温泉だけが魅力ではありません



シーボルトの湯には車いすで利用できる貸切風呂がある

ん。嬉野の温泉水で煮込んだとろろの湯
どうふは絶品。佐賀が誇る佐賀牛も食べて
みる価値あり。塩田地区まで足を延ばせば、
練り、絵付け、ろくろ体験など車いすのまま
陶芸体験も楽しめます。



シーボルトの湯から眺める温泉公園と嬉野川

。特産品として嬉野茶も有名。温泉街周辺
にも茶畑が広がり、店頭ではおいしいお茶
の入れ方や試飲もできるので、一度お試
しあれ。

また、佐賀県内にとどまらず、長崎のハウ
ステンボスや佐世保の情報も充実。

有明佐賀空港には福祉車両のレンタカー
もあり、佐賀県内の身体障がい者用駐車場を
スムーズに利用できる。パーキングパーミッ
トのカードがその場で交付してもらえるの
もうれしいサービスです。

発行物



嬉野温泉
やさしい旅館
GUIDEBOOK

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
△	人的介助サービス（介助のコーディネート）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス



学校の授業の一環として、バリアフリー研修を実施



佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターはバスセンターの中

14

BARRIER FREE TOURISM

沖縄バリアフリーツアーセンター

沖縄の玄関口、那覇空港に案内所 海を楽しむ様々なプログラムも 全てワンストップで

青く透明な海で様々なアクティビティ

沖縄を訪れる車いすの旅行者に今、もっとも人気なのは、那覇から車で2時間半ほど北に位置する美ら海(ちゅらうみ)水族館です。東洋一



美ら海水族館はバリアフリーの配慮が行き届いている

と言われる巨大な水槽では、ジンベイザメやマンタが悠々と泳いでいます。館内はエレベーター、スロープ、車いす対応トイレなどバリアフリー環境が十分に整っており、施設のバリアフリー

マップも用意されています。

世界遺産に登録されている首里城は、那覇空港からモノレール一本でアクセスすることが出来ます。首里城の歴史は琉球王国の歴史そのもので、小高い丘の上に曲線を

描く城壁で取り囲まれ、その中に多くの施設が建てられています。史跡のため、エレベーターなどの近代的なバリアフリー設備は望めませんが、城内には車いすの方のために階段昇降機が用意されています。

那覇での買い物といえば、国際通りが有名です。南国情緒あふれ、多くの人が行き交う活気あふれる那覇のメインストリートで

す。通り沿いには車いす対応トイレのある店舗も多く、補助犬の入店なども含めてバリアフリーに対する意識が全体的に高いと言えます。

青く透明な美しい海は沖縄の大きな魅力ですが、離島のお勧めは、久米島です。久米島の特色として、宿泊施設すべてがキザミ食、アレルギー食についての勉強をしているという点をあげることが出来ます。障がい者や高齢者の受け入れに対して、島ぐるみで積極的と言えるでしょう。

石垣島では、バリアフリーダイビングなどの様々なアクティビティが楽しめます。また、竹富島



障がいがある方も様々な方法で海を楽しむことができる

案内の対象エリア
沖縄県全域(島しょ部含む)

INFORMATION

特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議

〒901-0142 沖縄県那覇市鏡水150番地
那覇空港国内線旅客ターミナル1階到着ロビー
TEL 098-858-7760
FAX 098-857-9058
<http://barifuri-okinawa.org/>
【事務局】
〒904-0011 沖縄県沖縄市照屋1-14-14
TEL 098-929-1140
FAX 098-929-1143
営業時間：10:00～18:00 年中無休
事業開始：2002年～



那覇空港の中にある
「こうれい者・しょうがい者観光案内所」



沖縄バリアフリーツアーセンターの大きな特徴は、那覇空港内に「しょうがい者・こうれい者観光案内所」を設け、ワンストップサービスを実現しているところです。沖縄の場合、離島という地理的状況から那覇空港からアクセスする観光客が8割以上と言われており、多数の観光客がこの観光案内所を活用しています。案内所では旅行の相談のほか、車いす、ベビーカーなどの貸出も行っています。

また、沖縄バリアフリーツアーセン

ナゴバイナッパルパークを楽しむ視覚障がい者



では、小さい島ながらもリフト付きの観光バスがご利用いただけます。

車いす貸し出し、ガイドブック発行 接遇セミナーの実施など幅広い取り組み

ターを運営しているバリアフリーネットワーク会議では、沖縄県内の観光施設、宿泊施設等のバリアフリー調査をもとに、ホームページを通じて情報発信しているほか、無料のバリアフリー観光ガイドブック「そらくる沖縄」を定期的に発行しています。この冊子は県内だけでなく県外にも幅広く配布されており、沖縄のバリアフリー情報を広める力強いツールとなっています。

他にも、バリアフリーネットワーク会議では、平成14年の設立以来、空港への補助犬用トイレ設置の働きかけと実現、人口透析患者旅行支援事業、観光ケアサポーターの紹介など、さまざまな実績をあげてきました。

また、観光施設へのバリアフリー接遇指導や、災害時の避難誘導マニュアル「逃げるバリアフリーマニュアル」の発行なども行



リッチモンドホテルのバリアフリールーム



空港での車いす貸し出しは多くの方が利用

発行物



バリアフリー観光ガイド
「そらくる沖縄」

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
◎	独自サイトからのバリアフリー情報発信
◎	人的介助サービス（観光介助、入浴介助、手話通訳等）
◎	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
◎	バリアフリーモニタリングツアー
◎	車いす、シャワーキャリー貸し出し
◎	建物のバリアフリー改修アドバイス

- 【その他の独自サービス】
- バリアフリーダイビングの紹介
 - 空港に窓口を設け、ワンストップサービス
 - 人工透析患者旅行支援

い、高齢者や障がい者の沖縄旅行をスムーズにするとともに、沖縄県の観光推進にも大きく寄与しています。

バリアフリーネットワーク会議の親川理事長は、バリアフリー観光の推進に関わるこれらの取組の一方で、障がい児のデイサービス事業の管理者という顔も持っています。こどもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるための様々なサービスの提供に、今も貪欲に取り組んでいます。

15

BARRIER FREE TOURISM

石川バリアフリーツアーセンター

古都金沢を中心に 観光地・石川の旅をもっと楽しく バリアフリーツアーセンターが始動

ますます注目の石川観光

北陸の古都と呼ばれる金沢、そして多くの温泉があることでも知られる石川県に、平成25年からバリアフリーツアーセンター（以下BFTC）の仲間が増えました。

平成25年春、能登と金沢を結ぶ有料道路が無料化になり、「のと里山海道」として生まれ変わったことで、車での旅もスムーズになりました。また、平成27年に予定されている北陸新幹線の開業に合わせ、金沢駅やその周辺は今まで以上に整備が進み、障がいのある人にとってもより使い易くなるこ



兼六園



近江町市場

「近江町市場」も観光客に人気があり、「食」の旅が充実しているのも金沢の観光の特徴です。また、能登の名湯、

とが期待されています。

これからますます観光客が増える石川県。着々とその観光地整備が進んでいます。金沢市には情緒豊かな兼六園やひがし茶屋街をはじめ、観光客に人気のスポットが多く、年間150万人近くの入館者を誇る金沢21世紀美術館は、今や金沢を代表する観光施設のひとつになっています。

金沢市民の台所として親しまれている

案内の対象エリア
石川県全域

INFORMATION

特定非営利活動法人
石川バリアフリーツアーセンター

〒920-0002
石川県金沢市千木1-75
TEL / FAX 076-255-3526
<http://www.ibarifuri.com/>
営業時間：10:00～17:00
(土日祝日、年末年始定休)
事業開始：2013年5月～



和倉温泉をはじめ、金沢の湯涌温泉、加賀の山代、山中、片山津温泉など由緒ある温泉地が多いことも、石川観光の魅力です。



のとしま水族館

求められるバリアフリー観光情報、これから発信します

こんな注目の観光地で、これから必ず必要なもの、それは障がいのある人も、高齢の人も楽しめるためのバリアフリー観光情報や観光プログラム。

石川BFTCでは、金沢を中心に、各地の温泉旅館などの情報をこれから発信していく予定です。また他の相談センターと同じように、様々な利用者からの相談にも丁寧にお答えし、アドバイスなどもします。石川

の観光を楽しんでいただくために、スタッフ一同多くの方のご利用をお待ちしています。

地元の協力が作り上げたバリアフリーツアーセンター

石川BFTCは、「各地の相談センターのようなものをぜひとも石川に作りたい」という、熱い想いの人たちによって作られました。

石川BFTC・事務局



白米（しろよね）千枚田

石川BFTCの坂井さゆり代表は、地元で塗装会社を営んでいます。石川のすばらしさを伝えたい、

事業コンテンツ

◎	観光施設等のバリアフリー調査
○	独自サイトからのバリアフリー情報発信
△	人的介助サービス（介助のコーディネート）
△	バリアフリー研修（宿泊施設、観光施設等）
—	バリアフリーモニタリングツアー
△	車いす、福祉機器の貸し出しサービス
△	建物のバリアフリー改修アドバイス



石川BFTC ホームページ

障がいのある人も安心して楽しめる観光地にしたいという坂井さんの思いに添えて、様々な協力者が集まり、石川県観光推進課や各市町、そして各地の温泉旅館などの協力も得て、センターが立ち上がりました。地元の市民や行政、観光施設、旅館、そして企業などが一体となって、この石川BFTCを支えています。



チックトラベルセンターハートTOハート (愛知バリアフリーツアーセンター)

障がいのある人もない人も 旅を楽しめることを目指して おもてなし度抜群の旅行を提供

経験豊富なバリアフリーの旅

チックトラベルセンター、ハートTOハート部門は、高齢者、障がいのある方のツアーを手がけて18年。お客様の中には、医療機器をご使用の重度障がいの方、難病の方も多くいらっしゃいます。また、行き先は国内だけでなく、海外にもどんどんお連れします。担当の松本さんは、これまで様々なお客様が旅行をされて笑顔になるのを多く見て、この仕事はとてもやりがいがあると語ります。

また、愛知県からは多くの人が伊勢志摩



ラスベガスにて

方面に旅行に行かれますが、詳細な現地のバリアフリー観光情報は伊勢志摩バリアフリーツアーセンターを通して調べることができます。「各地のバリアフリーツアーセンターは安心してお客様に旅行を提供するために欠かせない存在で、大切な仲間」と松本さん。



ストレッチャーを利用して北海道旅行

愛知の喫茶店と言えば、コーヒーとパン以外にいろいろなものがついてくるサービス満載のモーニングが有名。例えば一宮市ではそんな喫茶店のモーニングサービスコンテストが行われています。そんな愛知らしさを感じていただけるような観光情報を提供できるように、現在準備を進めています。

愛知バリアフリーツアーセンター開設準備中

現在は旅行提供を中心のチックトラベルセンターですが、今後は愛知県のバリアフリー観光情報を提供するツアーセンターを開設する予定です。

案内の対象エリア
全国各地・及び海外

INFORMATION

チックトラベルセンターハートTOハート
(観光庁長官登録旅行業第735号)

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1丁目20-19
名神ビル
TEL 052-222-7611
FAX 052-212-2778
<http://www.tictravel.co.jp/heart/index.html>
営業時間：9:30～18:30 土日祝定休
※愛知バリアフリーツアーセンター開設準備中



一人ひとりの想いと お体の状態に合わせて旅を実現 しゅららくの旅づくり

いくつになっても大丈夫

介護が必要な方中心に旅のサポートを行っている「しゅららく」。「旅をあきらめない」をモットーに、病気で寝たきり状態の方や終末期にある方にも、国内海外を問わず積極的に旅行を提供しています。様々な状況の人に対応するしゅららくの旅は、旅行前の確認・相談から始まります。どのようなお身体状況なのか、旅行中何が必要なのか、丁寧にお話をお聞きした上で、安心して楽しめる旅をつくりまします。必要



大阪在住の脳梗塞左麻痺のお客様とグラムへ。

にに応じて介助や医療スタッフの同行、介護タクシーの手配等も行います。

高齢で介護が必要な方にとっては、外出自体が準備と勇気が必要になります。しゅららくが観光旅行以外に積極的に行っているもうひとつの旅行、それは、お孫さんの結婚式への出席や、昔の友人訪問、お墓参り、長期入院者の一時帰宅など、高齢になったからこそ出かけた、あるいは訪れておきたいと願う場所への外出のサポートです。

神戸を中心に兵庫の旅もおまかせ

しゅららくでは旅行の提供だけでなく、兵庫のバリアフリー観光情報も順次調査、発信していく予定です。兵庫県には障がいをお持ちの方でも楽しめる場所が盛りだくさん。例えば高校野球の聖地といわれる甲子園球場は、近年整備が進み、車いす座席が約3倍に増えただけでなく、エレベーターやスタンド内移動時の上下動が少ない「3塁アルプス音楽シート」も設置されました。また、熱狂的ファンが数多く訪れる宝塚大劇場も比較的バリアフリー設備が整っており、段差なく座席まで行くことができます。その他にも世界遺産姫路城をはじめ有馬温泉や城崎温泉、南京町など全国的にも有名な観光地が数多くあります。自然豊かで海、山の幸も多いエリアですので、多くの人に楽しんでいただきたいと思います。



神戸にお住まいの阪神ファン歴60年のお客様と甲子園球場へ。

案内の対象エリア
全国各地・及び海外

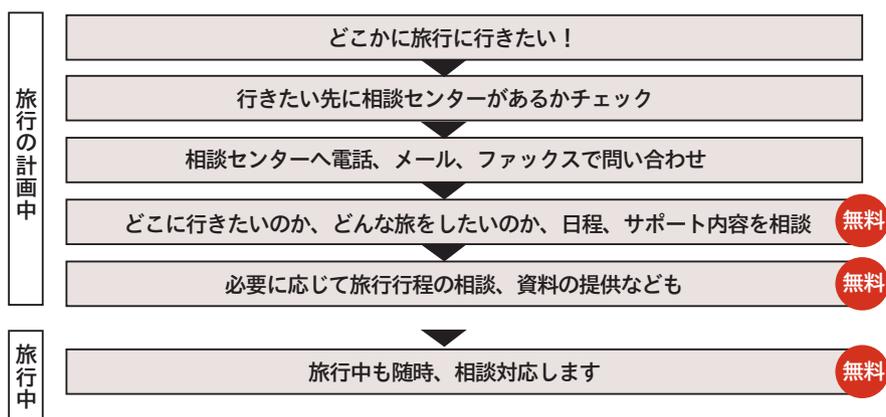
INFORMATION

特定非営利活動法人しゅららく
(兵庫県知事登録旅行業第 2-628 号)

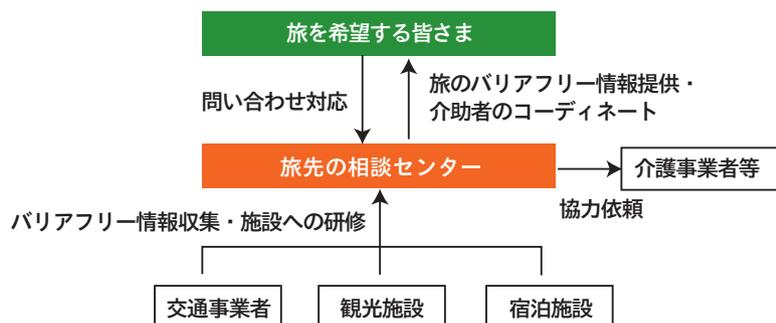
〒654-0055
神戸市須磨区須磨浦通4-4-6
須磨浦ビル204号室
TEL 078-735-0163
FAX 078-735-0164
<http://www.123kobe.com/>
営業時間：8:45～17:30

相談センター利用の流れ

各地の相談センターでは宿泊施設や交通事業者等とのネットワークを活かしてそれぞれが行っているサポートサービスをつなぎあわせることができます。ワンストップで様々な情報、サービスを連携させ、総合的な旅のサポートを実現します。



相談センターでは旅を希望する皆さまのご要望をしっかりと伺い、必要となるバリアフリー情報、旅行の楽しみに関する情報をご提供するとともに、介助者のコーディネートなども行います(実施していない相談センターもあります)。





伊勢市バリアフリー観光向上事業

パーソナルバリアフリー基準 によるアドバイス



平成25年に神宮式年遷宮を迎え、ますます増える伊勢市への観光客。その中でも障がい者、高齢者の宿泊客の受け入れの充実を図るために、伊勢市は平成23年、24年度の2年間、市内の宿泊施設を対象に「バリアフリー観光向上事業」を行いました。

これは、バリアフリー化したい宿泊施設に対して改修費の2分の1（上限400万円）を伊勢市が補助するというもの。ただし、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターによる、ヒアリングとバリアフリーアドバイ

イスを受けて改修することが条件で、とりわけ改修の基準と評価に、行政のUD条例に基づいた改修ではなく「パーソナルバリアフリー基準」（P.02参照）を伊勢市が採用したことが大きなポイントでした。

まずは集客したいターゲットを絞り、それらに沿ってアドバイスをしていくことで、大規模な改修でなくとも、受け入れられる客層幅を広げることができます。これによって、バリアフリー改修を躊躇していた旅館も改修に踏み切り、初年度に7件、2年次に10件という成果を得ることができました。

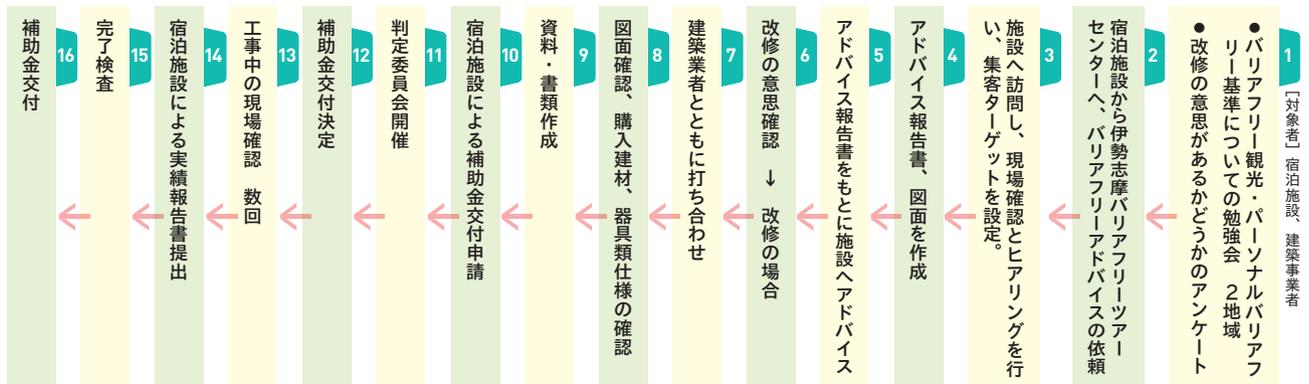
また、改修を行った旅館からは、「障がい者、高齢者へ目が配れるようになった、意識するようになった」「お客様が増えた」という、うれしい報告もありました。

ハードを整えたことによって、ソフト面も自然と向上してきているようです。

平成26年には事業活用の旅館、ホテルによる宿泊キャンペーンも行う予定です。



バリアフリー観光向上事業スケジュール



日の出旅館



■改修箇所

【平成23年度】

- 玄関入口段差解消のためのスロープ
- 共用車いす対応トイレ新設（1室）
- 共用の和式トイレを、男女別の手すり付き洋式トイレに改修
- ユニバーサルルーム新設
- バリアフリーお食事処新設
- 廊下段差をすべて解消
- シャワーチェア購入（補助事業対象外）

【平成24年度】

- 大浴場の浴槽に中段と手すり設置
- 大浴場近くの共用トイレを、手すり付き洋式トイレ1室と、車いす対応トイレ1室に改修



老舗旅館がバリアフリー化 新しい試みに、お客様の注目度UP

創業100年、築65年の老舗旅館。JR伊勢市駅から徒歩2分のところにあり、外宮へも徒歩10分弱で行けるので、観光にも便利です。

ユニバーサルデザインに対応した客室や、車いす対応トイレ、玄関スロープなどができ、高齢者や車いすの方にやさしい宿に生まれ変わりました。

ユニバーサルルーム以外の部屋は、トイレ・バス無しの部屋がほとんどですが、1階の共用トイレはすべて改修され、とてもきれいです。



料理旅館 おく文

館内のあちこちに見られる大工の技術とバリアフリーの新しい風を上手く融合

昭和初期の建築で木造一部2階建て、部屋数10室あまりの小さなお宿。館内あちこちに、今や珍しい大工の技術が光る細工が綺麗に残っています。

客室はすべて和室のため、入口等には段差がありますが、部屋の内部も車いすOK。

「料理旅館」の名のとおり、会席料理がいただけます。食事にはテーブル席を導入しているのも嬉しいポイント。大工の意匠をさりげなく残した車いす対応トイレの新設や、大浴場のバリアフリー化に注目。



■改修箇所

【平成23年度】

- 共用車いす対応トイレ新設（1室）
- 2階の和式トイレを手すり付き洋式トイレに改修
- 食事処への段差にスロープ設置
- 大浴場脱衣所段差に手すり設置
- 玄関入口の段差解消のための簡易スロープ購入（事業補助対象外）
- シャワーチェア購入（事業補助対象外）

【平成24年度】

- 共用浴室（2室）・脱衣所の全面改修
廊下→脱衣所→浴室間の段差をなくし、手すりを設置



(要相談)



海洋楼



客室、食堂、浴室、車いす対応トイレが
全て1階に揃い、足の不自由な方も安心

二見の海岸通りに位置し、夫婦岩まで徒歩3分という好立地の宿。入口には段差がありますが、車いすの方には簡易スロープを設置してくれます。

館内はエレベーターやバリアフリールームはないものの、1階に客室、大浴場、家族風呂、テーブル席の食堂があり、客室の近くの男女共用トイレにはそれぞれ車いす対応トイレもあるので、足の不自由な方でも安心して宿泊できます。家族風呂は無料で利用でき、2タイプあるので、使いやすい浴室を選べるのも便利！



■改修箇所

- 【平成23年度】
 - 1階に共用車いす対応トイレ新設（男女各1室）
- 【平成24年度】
 - 2階に共用車いす対応トイレ新設（1室）
 - 2階共用トイレの和式便器を、男女それぞれ1台ずつ洋式便器に改修
 - 大浴場2室の浴槽に手すり設置

麻野館

大浴場に浴室用畳を導入
転ぶ心配がある方にもうれしい

明治創建当時の面影を残し、落ち着いた風情を感じさせる純和風木造3階建てのくつろぎの宿。

客室は全室和室でエレベーターはありませんが、トイレ・浴室に手すりのある客室が1階に2室あり、共用の車いすトイレも新設されたので安心です。大浴場には浴室用畳が敷かれており、滑りにくく、万一転んでもケガをしにくいので、安心して入浴できると好評。若主人は調理師と介護食士の資格を持ち、特別食対応も積極的に行っています。



■改修箇所

- 【平成24年度】
 - 玄関あがりかまちに手すり・踏み段設置
 - 階段に手すり設置
 - 1階に共用車いす対応トイレ&洗面を新設（1室）
 - 2階共用トイレ 和式便器→洋式便器に改修
 - 大浴場洗い場床に浴室用耐水性畳を施工、浴槽に手すり設置
 - 客室のうち1階2室、2階1室のトイレ・浴室に手すり設置



(要相談)



■改修箇所

【平成24年度】

- 玄関前段差解消
- 階段 両側に手すり設置
- 2・3階男性用トイレ
和式便器→洋式便器手すり付きに改修
- 2・3階女性用トイレ
既存洋式便器に手すり設置
- 共用浴室・脱衣所 手すり設置

つるや旅館



客室は外宮を望む2階以上の和室
2室ある共用浴室は家族で貸切できる



■改修箇所

【平成23年度】

- 建物入口段差解消のためのスロープ設置
- 共用浴室に手すり設置
- 客室のバストイレに手すり設置（3部屋）

ビジネスホテル山本



伊勢市駅に近く便利なホテル
客室のバストイレに手すりを設置



■改修箇所

【平成24年度】

- 貸切風呂の脱衣所（2室）に、腰かけられるベンチを新設
- 貸切風呂の浴槽（1室）に、一旦腰かけてから浴槽へ入れるスペースを設置
（事業以前から、バリアフリーールームあり）

大石屋



既にバリアフリーな純和風旅館
貸切風呂を改修して、より使いやすく



■改修箇所

【平成24年度】

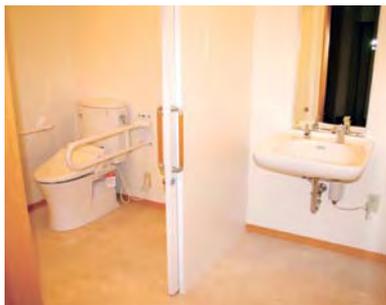
- 和式トイレ→手すり付き洋式トイレに改修
- 既存洋式トイレに手すり設置
- 入口段差に手すり設置
- 共用浴室に手すり設置
- 階段に手すり設置
- 上りかまち段差に踏台設置

瑞穂館



（要相談）

立地の良い2階以上の全室和室旅館
共用浴室は中段と手すり付き



■改修箇所

【平成23年度】

- 共用車いす対応トイレ新設（1室）
- 大浴場に手すり設置
- 貸切家族風呂に手すり設置

松嶋館



車いす対応のトイレを新設
浴室と貸切風呂も手すりが付いて安心



■改修箇所

【平成23年度】

- 共用車いす対応トイレ新設（1室）

【平成24年度】

- 大浴場（3室）の浴槽に手すり設置
- 3階女性用大浴場前の階段に手すり設置

潮香苑



（要相談）

海が目の前の全室和室旅館
手すり付大浴場の貸切も可能



■改修箇所

【平成24年度】

- 共用車いす対応トイレ新設（1室）
（簡易オストメイト付き）
- 家族風呂の浴槽に中段と手すり設置

1階の段差の少ない和室を利用すれば
館内の車いす対応トイレ、貸切風呂で快適

浜千代館



■改修箇所

【平成23年度】

- 共用トイレに手すり設置
- 大浴場脱衣所・洗い場に手すり設置

【平成24年度】

- 共用トイレに手すり設置
- 大浴場の浴槽に手すり設置
- サロンの階段に手すり設置
- 全客室のトイレに手すり設置

全客室トイレや、大浴場に手すり付
和洋室もあり、くつろげる中規模旅館

旅荘 海の蝶



伊勢市バリアフリー観光向上事業以外の伊勢志摩地区のバリアフリー宿泊施設

伊勢、鳥羽、志摩地区で、伊勢志摩バリアフリースターセンターがバリアフリー調査済みの宿泊施設リストです。
詳細は、伊勢志摩バリアフリースターセンター(TEL:0599-21-0550)へお問い合わせ下さい。

伊勢地区	鳥羽地区	志摩地区
伊勢パールピアホテル   	安楽島温泉 海女乃島  	伊勢志摩エバーグレイズ  
リゾートイン二見   	海辺の花ホテル マリテーム 海幸園・樹風花    	伊勢志摩ロイヤルホテル  
 : 館内に車いす対応トイレ有	扇野の宿 扇芳閣   	賢島宝生苑  
 : 車いす対応トイレ付客室有	神代温泉 五感の宿 慶泉    	賢島パークホテルみち潮    
 : 貸切家族風呂、異性介助可能な浴室有	かんぼの宿 鳥羽   	シーサイドホテル鯨望荘   
 : 館内エレベーター有	サン浦島 悠季の里    	サンペルラ志摩   
	タラサ志摩  	セレクトグランド伊勢志摩   
	戸田家    	合歓の郷(ホテル合歓)   
	鳥羽国際ホテル 潮路亭  	エクシード合歓の郷  
	鳥羽シーサイドホテル    	ホテル志摩スペイン村  
	浜の雅亭一井  	ホテル近鉄 アクアヴィラ伊勢志摩   
	リゾートヒルズ豊浜    	御座白浜 はまゆうバンガロー 
		セラピーリゾート伊勢志摩 



行きたいところへ自由に 車いすを借りて楽々旅行

障がい者、高齢者の旅行が増え、旅行先の現地で車いすを借りたいという観光客が、最近多くなってきています。

もちろん、観光施設や駅などでの車いすの貸し出しはありますが、その施設を離れる時は返却しなくてははいけません。そんな制約にとらわれず、自由に車いすを使いたいという方のために伊勢志摩地区で行われているサービスが

- ① 楽々散策レンタル車いす(外宮・内宮周辺)
- ② どこでもチェア(伊勢志摩全域)

「楽々散策レンタル車いす」は、伊勢市が行っている事業で、外宮(外宮参道)周辺、内宮(おほらい町)周辺を散策するための車いすレンタルです。伊勢市駅から外宮までは約400m、市営駐車場から内宮までは約1km。この距離を歩くのは高齢の方とかなり大変。ゆっくり、疲れることなく散策するために、とても便利なサービスです。

なお、外宮、内宮の神域内は、神宮が独自で行っているタイヤの太い砂利道用車いす(電動、手動)の貸し出しをご利用することをお勧めします。

また、「どこでもチェア」は伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが鳥羽市と協働で行っている車いすレンタルシステム。

平成15年から始まり、鳥羽市内に7か所の貸し出しステーションがあります。返却は、鳥羽市内の観光施設や各宿泊施設等約40カ所でも可能ととても便利。また、これら返却場所に戻していただければ、どこでも使っていただいてもOKなので、旅行期間中、継続してご利用いただけます。

楽々散策車いす (外宮・内宮周辺)

- 無料 ※予約不可
- 【外宮周辺】
- 伊勢市駅 観光案内所
 - 受付時間：9：00～15：30
(返却17：00)
 - 車いす台数：4台
 - TEL 0596-65-6091
- 【内宮周辺】
- 宇治浦田観光案内所
 - 受付時間：9：00～15：30
(返却17：00)
 - 車いす台数：8台
 - TEL 0596-23-3033



どこでもチェア (伊勢志摩全域)

- 無料 ※予約可
- 【鳥羽市】
- 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
 - 受付時間：9：00～17：00
 - 車いす台数：全ステーションで13台
 - TEL 0599-21-0550
- 〈貸し出しステーション〉
- 鳥羽市観光案内所
 - インフォメーションセンター遊民
 - 鳥羽マリンターミナル
 - 佐田浜駐車場管理事務所
 - 鳥羽水族館駅前センター
 - 歴史文化ガイドセンター



式年遷宮にむけて発足 新しいかたちの神宮サポート

平成25年は伊勢神宮の式年遷宮の年。伊勢志摩バリアフリーツアーセンターへの神宮参拝を強く願う車いす利用者からの相談件数は年々増えてきています。

外宮は入口から正宮まで玉砂利敷きの参道が約300m。内宮は宇治橋から正宮まで約800m。また内宮には、正宮前に階段が30数段あります。

神宮では砂利道を走行しやすい電動車いすの貸し出しがありますが、同行者が高齢な場合など、不安な気持ちのお客様は多くいます。

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターでは、そんなご相談がある、同行者の人数や年齢を伺いながら、参拝のアドバイスを行い、どうしてもサポートが必要な場合は、ボランティアを手配してきました。しかし、ボランティアのご依頼は増える一方でした。そんな中、平成23年の参拝ボランティアイベントをきっかけに、参拝サポートを行うボランティア団体「車いすde伊勢神宮参拝プロジェクト」が発足。現在、年2回ほど参拝イベントを開催しています。参拝イベント時には地元企業や学生たちに声をかけ、集まったのべ70名ほどのボランティアたちがサポートを行っています。1日に集中させて行うので、ボランティアも集まりやすく、より多くのお客さまのご参拝の手助けをすることができます。

現在は、月に一度の会議を重ね、イベントの準備や、今後の活動の方向性を検討しています。

まだまだ、サポート体制やシステムが万全ではありませんが、着実に神宮サポートへの認知は高まってきており、今後の活動に注目していきたくて団体です。



問い合わせ先

車いすde
伊勢神宮参拝プロジェクト
(事務局)
伊勢志摩バリアフリー
ツアーセンター
TEL 0599-21-0550



日本一のバリアフリー観光事業始動

三重県全域に広がる バリアフリー観光

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターへの問い合わせは年間800件ほどありますが、その中で時々「熊野古道は車いすでも行けるの?」「帰りに忍者屋敷に行きたいんだけど、バリアフリーはどんな感じ?」「松阪牛食べたいんだけど…」等々、伊勢志摩だけでない情報を求められることが多くなってきました。



伊賀研修

そこで、平成23、24年度三重県のNPO等からの協働事業提案（新しい公共の場づくりのためのモデル事業）として「日本一のバリアフリー観光事業」を行いました。これらは伊賀、亀山、松阪、志摩、東紀州の各地区において、バリアフリー調査

に協力していただける観光施設の方、それらの地域で調査専門員になっていただける方を対象にパーソナルバリアフリー基準に基づいた勉強会と研修会を行ったものです。2年間で障がい者を含む65名もの専門員を育成することができました。

その後、宿泊・観光施設の調査も行い、現在はホームページで情報発信をしています。伊勢志摩のみならず、三重県全域で楽しんでいただけるよう、ますます内容を充実させていきます。



●三重県バリアフリー観光情報
URL : <http://miebarifuri.com>

三重おもいやり駐車場 利用証制度



三重おもいやり駐車場は三重県内の観光施設等にも広がってきていますので、旅行の際は利用証があると便利です。

車いす使用者用駐車場の適正な利用を促進

三重県では、平成24年度から、歩行が困難な方の外出を支援するため、「車いす使用者用駐車場」等が必要とする方に利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を開始しました。これまで不明確であった「車いす使用者用駐車場の利用対象者を明らかにし、利用証を掲示することにより駐車場の適正な利用を進めようとするものです。



利用証はバックミラー等にかけて掲示

同様の制度は、全国30府県に広がってきており、それぞれの府県との間で利用証の相互利用ができるようになっていきます。

●県外(観光客)の申請方法●

制度を導入している府県の間で相互利用ができるので、他府県が発行している利用証を三重県でそのままお使いいただけます。それ以外の他県の方は、事前に三重県に申請してください。

①申請書

②障がい者手帳、療育手帳、介護保健被保険者証、妊産婦は母子手帳等の写し、また、一次的な怪我の場合は、医師の証明書等

この2点を郵送することで、2週間程度で利用証が発行されます。どうぞご利用ください。

問い合わせ 三重県健康福祉部地域福祉課
TEL 059-224-3349



伊勢◎旅バリフォン
伊勢・旅バリフォン開発協議会

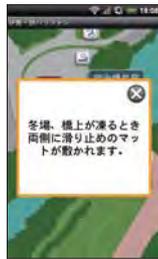


アプリのダウンロードは
このQRコードから！

バリアフリー情報アプリで
ラクラク観光！

国土交通省「平成24年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」により、伊勢・旅バリフォン開発協議会が神宮参拝に訪れる障がい者、高齢者に役立ててもらうためのスマートフォン（アンドロイドのみ）アプリ「伊勢・旅バリフォン」を開発しました。

このアプリは、伊勢神宮周辺の施設、店舗、トイレ等が地図上にピクトグラムで落とし込んであり、それらの詳細データは、入口の段差や手すりの位置など、数字と写真を使って、パーソナルバリアフリー基準にもとづいた情報発信となっています。また、神宮神域内のバリアフリー情報もイラストマップにして、参道の状況を来訪前に確認できるようにしており、利用者本人が「行ける」「行けない」「何を留意すべきか？」を判断できる内容となっています。



◎バリアフリーイラストマップ

伊勢神宮のオリジナルイラストマップを掲載。正宮までの距離や別宮の場所、トイレ、段差などのバリア情報を網羅！他県からお越しの際の経由駅である JR・近鉄伊勢市駅と近鉄宇治山田駅の詳細なイラストマップもご用意しています。



◎バリアフリー各種検索

バリアフリー対応の施設・店舗やトイレ、車イス対応駐車場や交通機関の情報など、パーソナルバリアフリー設定をもとに、その人に合った施設・店舗の場所をマップ上に表示します。写真や詳細情報も確認することができます。



◎施設・店舗検索

施設・店舗の紹介や新商品などの新着情報を掲載。もちろん、各施設・店舗ごとの詳細なバリア情報も掲載しています。行きたい場所の気になるバリアを事前にチェックできるので、安心してお買い物や観光をお楽しみいただけます。

◎バリアフリー経路検索

観光施設などへのアクセスの際、詳細なパーソナルバリアフリー設定をして経路検索することにより、行きたい場所までの安全な経路をご案内します。大きな段差や階段、狭い歩道などをあらかじめ避けることができますので安心です。



<あとがき>

本冊子は2012年(平成24年)に、日本バリアフリー観光推進機構と、当時全国に14ヶ所15団体のバリアフリー観光相談センターを紹介する冊子として刊行された「旅バリ」の第2版2013年版です。

2012年に刊行されたオリジナル版は好評により、印刷した5,000部が早くに完配され、在庫のない状態が続いていましたが、本年(2013年)第3回バリアフリー観光全国フォーラムを三重県伊勢市で開催するにあたり、伊勢市のご協力により、改訂版を再発行できることになりました。伊勢市に深い感謝の意を示すために、本改訂版には、伊勢市が伊勢志摩バリアフリーツアーセンターとの協働で進めてきた、「伊勢市バリアフリー観光向上事業」を掲載させていただくこととしました。

伊勢志摩は、日本バリアフリー観光推進機構の会員で採用する「パーソナルバリアフリー基準」が誕生した地域であり、「伊勢市バリアフリー観光向上事業」もきわめて先駆的な取り組みです。巻末に掲載した伊勢市の事業の数々は、今後全国各地でバリアフリー観光によるまちづくりを推進するにあたり、とてもいい前例になることでしょう。

また、この1年で3地域の仲間が増えました。まだ本格的な活動に至っていないために、本改訂版においては掲載スペースを限らせていただきましたが、今後は活発な活動が期待されています。そしてさらに現在も、新たな地域での仲間が誕生しようとしています。

今後、バリアフリー全国フォーラムが開催される各地でも、伊勢市同様に新たな先駆的取り組みが行われ、その取り組みが本冊子同様の形で紹介される、次の改訂版が発刊されることを編集チーム一同、心より願う次第です。

(編集チーム一同)



旅ノバリ

TABIBARI
BARRIER FREE TOURISM

「旅バリ」

発行日 2013年6月21日
発行人 中村元
編集人 田中隆一
発行所 特定非営利活動法人 日本バリアフリー観光推進機構
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル7F
電話:03-6380-0745 FAX:03-6380-0746
e-mail:info@barifuri.jp

執筆 中村元 田中隆一 野口あゆみ 中子富貴子
印刷 今井印刷株式会社

※本冊子は、2013年6月21日の全国フォーラム伊勢大会に合わせ、伊勢市の協力のもと制作しました。